SONY

パーソナルコンピューター

L シリーズ

取扱説明書

VPCL2

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

クイックセットアップガイド

VAIOの接続や準備について、イラストを見ながら知ることができます。

取扱説明書（本書）

VAIOを使えるようにするための準備や、Windowsが起動していないときの操作、トラブルの解決法、サポート情報などを記載しています。

VAIO 電子マニュアル

知りたいこと・わからないことを調べる

取扱説明書（本書）に記載している情報のほか、さらに詳しい情報もたくさん記載しています。検索機能を使って、すばやく便利に目的の操作やトラブルの解決法を見つけることができます。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO電子マニュアル］をクリックする。

VAIO ナビ

目的にあったソフトウェアを探す

目的の項目を一覧から選んでいくことで最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIOナビ］をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

L シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様」をご確認ください。

このマニュアルでは、Windows 7 64ビット版での操作を説明しています。32ビット版がインストールされている場合、実際にお使いの操作とマニュアルの記載とが異なる場合があります。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや写真、画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows 7の画面テーマには、「Aero」や「ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」は、Windows 7 Home Premium搭載モデル、Windows 7 Professional搭載モデル、およびWindows 7 Ultimate搭載モデルにインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「地上デジタルチューナー搭載モデル」と書かれているときは、地上デジタルチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。

目次

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

本機をセットアップする

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO 電子マニュアル]をクリック!

HDMI ／ VIDEO入力機能

インターネット／メール

Quick Web Access

増設／バックアップ／リカバリー

困ったときは／サービス・サポート

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック！

各部名称／注意事項

安全規制について

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

付属の電源コードについて

付属の電源コードはAC100V用です。
付属の電源コードはこの機器のみでご使用いただく専用品です。他の製品ではご使用になれません。
また付属の電源コード以外は本製品にはご使用にならないでください。発熱により火災・感電の原因となる事があります。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2 適合品です。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

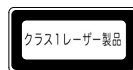
電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線モジュール及び付属のワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵の無線モジュール及び付属のワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードを分解／改造すること
- 本機内蔵の無線モジュール及び付属のワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードに貼られている証明ラベルをはがすこと

VAIOのワイヤレスマウスのレーザー安全基準について

本製品に同梱しているマウスは、レーザーに関する安全基準（JIS C 6802:2005）クラス1に適合しています。
マウスの底面に下記適合ラベルを表示しています。

クラス1レーザー製品

注意

- マウスの修理・点検が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
- ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

レーザー安全基準について

本製品には、レーザーに関する安全基準（JIS C 6802:2005）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

注意

- 本製品の修理・点検が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
- ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

搭載されている光ディスクドライブについて

注意：ここを開くとクラス3Bの可視及び不可視レーザー放射がでます。
ビームの目または皮膚への被ばくは危険です。見たり触れたりしないでください。

最大出力：390 μW (λ650nm), 563 μW (λ780nm), 39 μW (λ405nm)
ビームの発散：0.6 (λ650nm), 0.45 (λ780nm), 0.85 (λ405nm)
パルス幅：連続波

AC電源の遮断について

⏻（電源）ボタンを押して電源を切っても、本機は、電源からは完全には遮断されていません。電源から切り離すためには、ACアダプターをコンセントから抜く必要があります。
不具合を感じた場合はすぐにコンセントからプラグを抜けるように、ACアダプターは、コンセントの近くでお使いください。

バッテリーについて

間違ったタイプに交換すると爆発の危険があります。
使用済の電池は、取扱説明書に従って処分してください。

ACアダプターについて

ACアダプターは、同梱、あるいはソニー純正の指定品のものをお使いください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

2.4DS/OF4

アース線の接地接続について（アース付きケーブル同梱モデルのみ）

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

ディスプレイ出力のHDCP対応について

本機は、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応しており、著作権保護を目的にデジタル映像信号の伝送路を暗号化することが可能です。
これにより著作権保護を必要とするコンテンツを再生・出力することが可能となり、幅広いコンテンツを高画質のまま楽しむことができます。
著作権保護されたコンテンツを再生する場合には、HDCP規格に対応したディスプレイが接続されている必要があります。非対応のディスプレイを接続した場合は、著作権保護されたコンテンツは再生または表示できません。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

使用済みコンピューターの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピューターの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：
（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] − [お問い合わせ／アフターサービス] − [使用済みコンピューターの回収について] をクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
より、事業者向けのページをご覧ください。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜く
3. VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

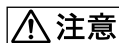
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

行為を指示する記号

指示

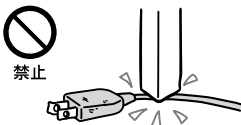
プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

壁に取り付ける場合は、必ず指定の取り付け金具を使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない。

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折などの大けがの原因となることがあります。
「本機を壁に取り付けるには」（26ページ）にしたがって、必ず専門業者に取り付けを依頼してください。

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリーモジュールを取り付けたり、取りはずすときは「メモリーを取り付ける／はずす」（64ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプター以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、LANケーブル、アンテナ接続ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

指示

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。なお、ACアダプターと電源コードは対応する入力電圧が異なる場合があります。ACアダプター・電源コードの記載をご確認ください。本機は国内専用です。海外で使用することを動作保証するものではありません。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 本機のワイヤレス機能は国内専用です。
  海外で使うと罰せられることがあります。

LAN端子に指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない

禁止

本機のLAN端子に次のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、端子に必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク(LAN)
- 一般電話回線
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間触れない

禁止

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因となることがあります。通電中のディスプレイ画面や通風孔には長時間触れないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

禁止

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合にはただちに本機の電源を切ってください。

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない。
  電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 病院など医療機関内、医療用電気機器の近くで使用しない。
  電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。
  電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

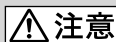
ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやマウスなどを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

レーザーマウス底面のレンズ部を直接見ない（レーザー光は目には見えません）

注意

マウス底面から発せられるレーザー光により、目を傷める可能性がありますので、さけてください。

接続するときは電源を切る

注意

ACアダプターや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

禁止

付属の電源コードはこの機器のみでご使用いただく専用品です。他の製品ではご使用になれません。
また付属の電源コード以外は本製品にはご使用にならないでください。
発熱により火災・感電の原因となる事があります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプターに巻き付けない

禁止

断線の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

通風孔からの排気に長時間あたらない

禁止

本機をご使用中、その動作状況により通風孔から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプターに長時間ふれない

禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。
また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどになる可能性があります。

本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

通電中の本機タッチパネル表面に長時間ふれない

本機タッチパネル表面は機器の構造上、部分的に温度が上がることがありますので、長時間のご使用時はご注意ください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところに置いたり設置したりしないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

コンピューターを運搬するときは、底面を左右から持ち、安定した姿勢で運んでください。運搬中にバランスを崩すと落下により、けがの原因となることがあります。
また、本体を設置する際、指などを挟まないようにご注意ください。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

端子はきちんと接続する

- 端子（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- 端子はまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- 端子に固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

製品の設置や移動時に机の上でずらさない

コンピューターを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

重いものを載せる、落とす、本機の上に乗るなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因となることがあります。

幼児の手の届かないところに置く

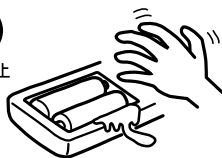
“メモリースティック”や小さなカード類などを誤って飲み込んだり、ケーブルを首に巻きつけたりすると、事故やけがの原因となります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

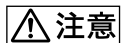
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

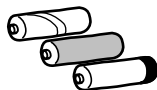
電池は乳幼児の手の届かない所に置く

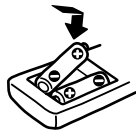
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

次の注意事項を守らないと故障の原因となることがあります。

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示にあわせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

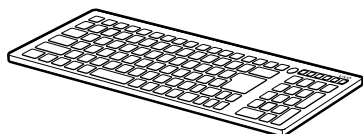
準備1

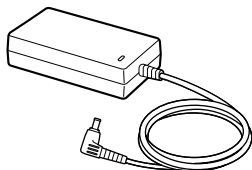
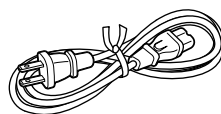
付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、商品が入っていた箱を捨てる前にVAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。本機の主な仕様については、別紙「主な仕様」をご覧ください。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

- ❑ **ワイヤレスキーボード**
  以下「キーボード」と略します。

- ❑ **ワイヤレスマウス**
  以下「マウス」と略します。

- ❑ **リモコン**
  (リモコン付属モデルに付属)
- ❑ **単3形乾電池**
  - キーボード・マウス用アルカリ乾電池(2)
  - リモコン用マンガン乾電池(2)(リモコン付属モデルに付属)
- ❑ **ACアダプター**

- ❑ **電源コード**

!ご注意
付属の電源コードは、AC100V用です。

- ❑ **3Dメガネ**
  (3D対応ディスプレイ搭載モデルに付属)
- ❑ **3Dメガネ充電用USBケーブル**
  (3D対応ディスプレイ搭載モデルに付属)
- ❑ **3Dメガネ用ポーチ**
  (3D対応ディスプレイ搭載モデルに付属)

ヒント
本機はハードディスクからリカバリーすることができるため、リカバリーメディアは付属しておりません。
詳しくは、「リカバリーする」(73ページ)をご覧ください。

説明書・その他

- ❑ **取扱説明書(本書)**
- ❑ **クイックセットアップガイド**
- ❑ **主な仕様**

❑ B-CASカード
（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデルに付属）
miniB-CASカード
（「スグつくTV」搭載モデルに付属）
台紙に貼付されています。
テレビを視聴するためには、B-CASカードを本機に挿入する必要があります（28ページ）。

❑ **保証書**
修理の際に必要になります。

❑ VAIOカルテ
修理の際に必要になります。

❑ Microsoft® Office 2010 プレインストールパッケージ
（「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」プリインストールモデルに付属）

ヒント
Officeを使い始めるには、プロダクトキーの入力が必要です。詳しくは、プレインストールパッケージに付属の「Office お使いになる前に」をご覧ください。

❑ **その他・パンフレット類**
大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

「Microsoft Office」のお問い合わせ先

❑ Microsoft Office Home and Business 2010

❑ Microsoft Office Personal 2010

❑ Microsoft Office Professional 2010

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報、およびプロダクトIDの確認方法については、付属の「Office お使いになる前に」をご確認ください。
- 「Office 2010」関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
Microsoft Corporation

基本操作に関するお問い合わせ：
本件について詳しくは、付属の「Office お使いになる前に」をご確認ください。
メールでの受付
以下のWebサイトにアクセスし、ご質問または問題に関連する製品を選択してください。
http://support.microsoft.com/oas/
24時間いつでも受け付けています。
電話での受付
（0120）54-2244

受付時間：月曜日～金曜日：9時30分～12時、13時～ 19時
土曜日：10時～ 17時
（祝日、マイクロソフト社指定休業日を除きます。マイクロソフト社指定休業日以外で日曜日が祝日である場合には、日曜日は上記どおり受付を行い、翌日の振替休日が休業となります。）

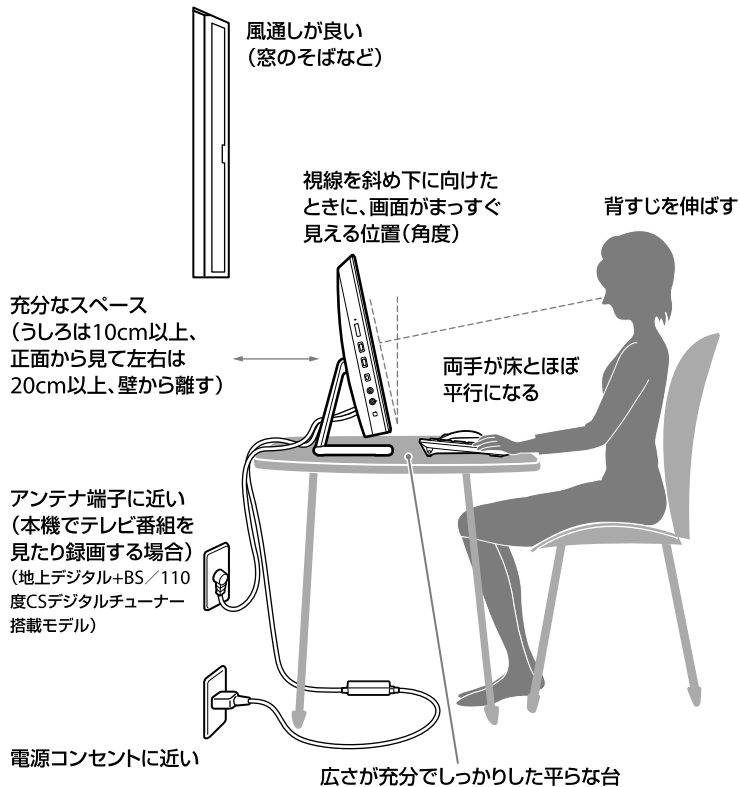
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
こちらのお問い合わせに限り、日曜日も10時～ 17時までサポートいたします。
有効期間
「Office Personal 2010」／「Office Home and Business 2010」：
お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して90日間 *
「Office Professional 2010」：
お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して1年間 *

* サポート ライフサイクル期間内

準備2

設置する

設置場所

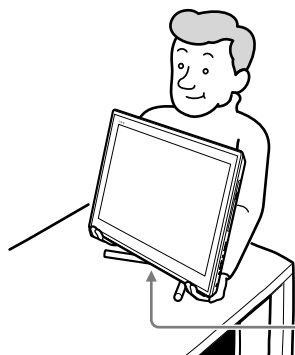
下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

！ご注意

- 本機使用中は本体上部の排気口が熱くなる場合があります。これらの部分に触れるときは充分ご注意ください。
- 排気口に物を置いたり、ふさいだりしないでください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

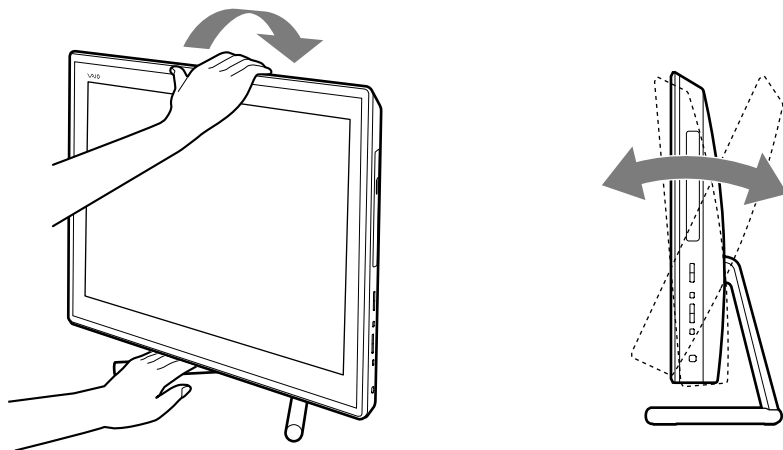
設置時のご注意

本機を置くときは、
衝撃が加わらないように静かに置く。

- スタンド部を持たないでください。破損のおそれがあります。
- 本機を持ち上げるとき、液晶ディスプレイのパネル部分へ衝撃を加えないようにご注意ください。
- 持ち運ぶときは、衣類やベルト等で液晶ディスプレイ等にキズがつかないようにご注意ください。
- 持ちかたによっては、転倒するおそれがありますので、本機を持つときには、本機側面の下を持って設置してください。
- スタンドの先端で机などにキズをつけないようにご注意ください。

故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

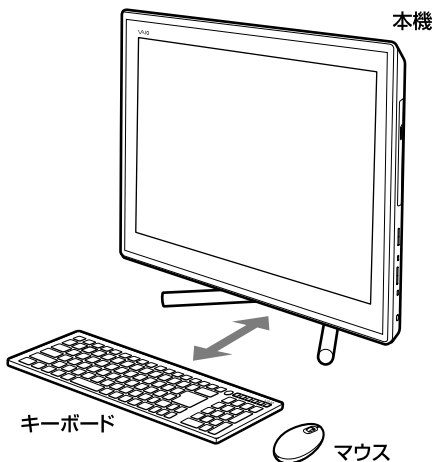
- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
  移動するときは、接続ケーブルをすべて取りはずしてください。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。

設置の際の安全上の注意事項もご覧ください（13ページ）。

ディスプレイの角度を調整する

スタンドを押さえながらディスプレイの上部を持ち、画面の角度を調整します。
本体は、約－5度～約25度まで角度を変えることができます。

！ご注意
角度を調整する際は、本体に強い圧力をかけすぎないようにご注意ください。強い圧力をかけすぎると破損することがあります。

ご使用になる環境について

本機とキーボードやマウスの距離は、最長10m離して使うことができます。

！ご注意
- キーボードやマウスの上に水などをこぼさないでください。キーボードやマウスが使用できなくなる場合があります。
- キーボードやマウスの近くに金属があると、通信に影響を及ぼし、キーボードのキー入力やマウスの操作が不安定になる場合があります。このような場合は、キーボードを金属から離し、本体との距離を離して（15cm以上）使用してください。

本機を壁に取り付けるには

本機は壁に取り付けて使用することもできます。壁に取り付ける場合には、壁掛け金具を使用し、専門業者に取り付けを依頼する必要があります。

本機を壁に取り付ける時のご注意

本機を壁に取り付ける場合には、必ず下記の業者へ依頼してください。
専門業者以外の人による取り付けは落下などのおそれがあり、大変危険です。

デジホームサポートデスク
電話番号：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
　　　　　（0466）38-4569（PHS・IP電話）
受付時間：10：00 ～ 18：00（年中無休　※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）
ホームページ：http://www.sony.co.jp/css/

接続する

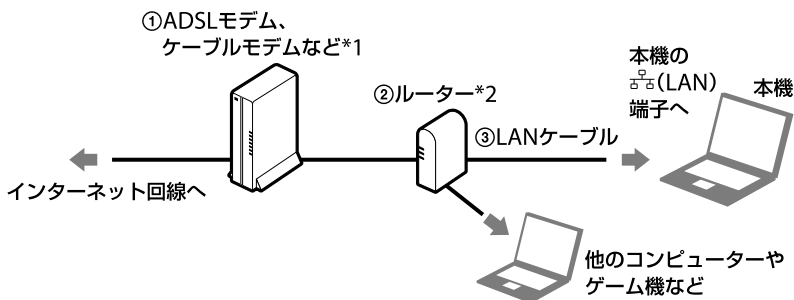
1 インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するためには次のような機器が必要です。各機器の接続・設定方法は、プロバイダーから送られてきたマニュアルや資料、機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

ヒント

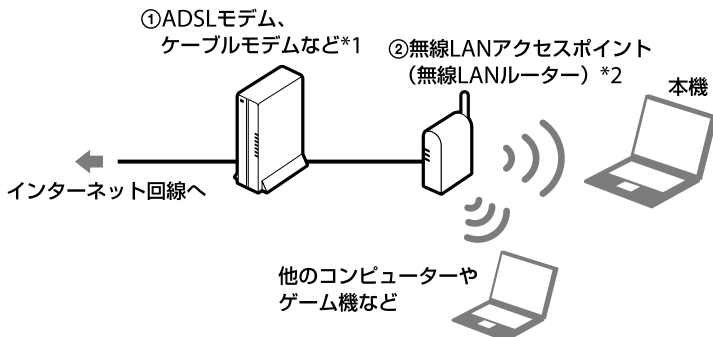
無線LANでインターネットに接続する場合は、「準備5 Windowsを準備する」のあとに無線LANの設定を行ってください。詳しくは「無線LANで通信する」(56ページ)をご覧ください。

有線LANで接続するには

次の①②③が必要です。

!ご注意

LAN端子に接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット(Ethernet)用などと表記されているものをご使用ください。

無線LANで接続するには

次の①②が必要です。

*1　マンションなどの集合住宅では、壁のLAN端子に直接LANケーブルを差し込める場合があります。その場合、モデムは必要ありません。
*2　ほかの機器をインターネットに接続しない場合や、ADSLモデムなどにルーター機能が搭載されている場合は、ルーターは必要ありません。

2 B-CASカードを入れる（テレビチューナー搭載モデル）

本機はデジタル放送に対応しています。
デジタル放送ではB-CAS*カード（デジタル放送用ICカード）を利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。本機でテレビを楽しむには、本機に付属されているB-CASカード（デジタル放送用ICカード）を本機に挿入する必要があります。B-CASカードを挿入していないと、スクランブルが解除できないため、デジタル放送を視聴することができません。
*　B-CASは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

！ご注意

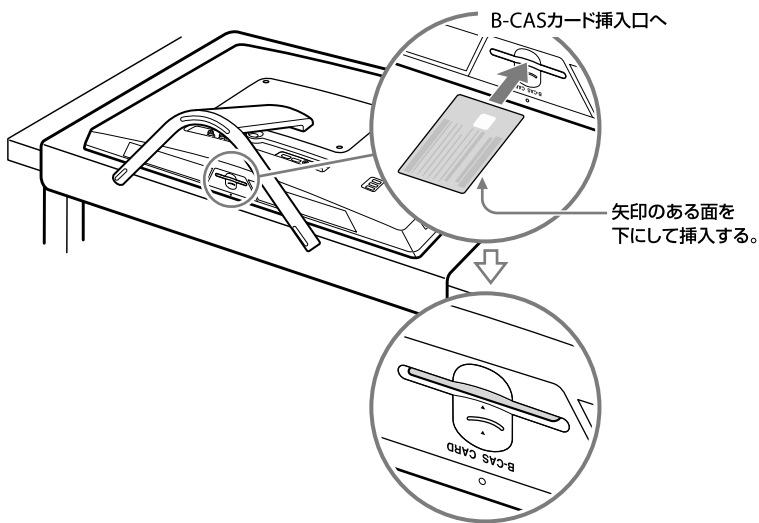
- B-CASカードの取り扱いの詳細は、カードが貼られている台紙の説明をご覧ください。また、台紙は大切に保管しておいてください。
- ご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号：0570-000-250）へお問い合わせください。

1 同梱の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

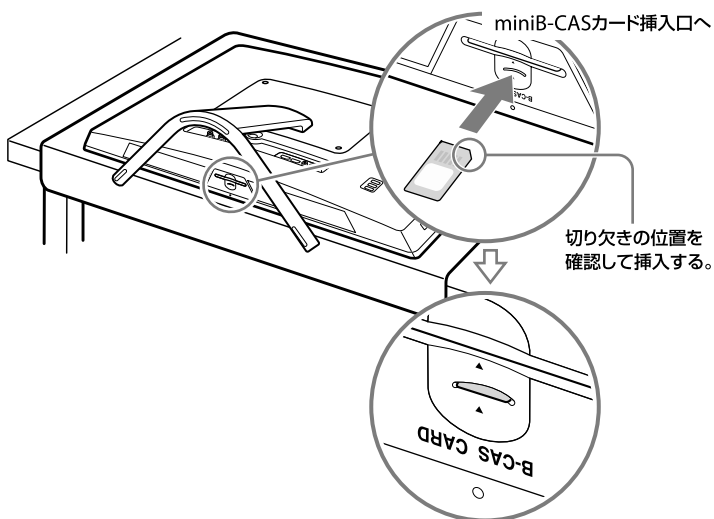
台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号：0570-000-250）へお問い合わせください。

2 B-CASカードを挿入する。（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）

本機底面のB-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入します。

！ご注意

- 本機に傷がつかないように布などをしいてください。
- B-CASカードは確実に奥まで挿入してください。

3 miniB-CASカードを挿入する。(「スグつくTV」搭載モデル)

本機底面のminiB-CASカード挿入口にminiB-CASカードを挿入します。

！ご注意

- miniB-CASカードは確実に奥まで挿入してください。
- 本機に傷がつかないように布などをしいてください。

3 アンテナに接続する（テレビチューナー搭載モデル）

テレビを見たり、録画するときは、あらかじめケーブル類などを接続しておく必要があります。
地上デジタルに加えて、BS ／ 110度CSデジタル放送も見るためには、地上波アンテナと衛星アンテナの両方に接続する必要があります。（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）
接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

本機のみを壁のアンテナ端子に接続する場合

アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

地上デジタル放送を見る（31ページ）

地上波アンテナのみとつなぎます。

地上デジタル放送とBS ／ 110度CSデジタル放送を見る

地上波とBS ／ 110度CSが個別の場合（31ページ）

地上波アンテナと衛星アンテナをそれぞれつなぎます。

地上波とBS ／ 110度CSが混合の場合（32ページ）

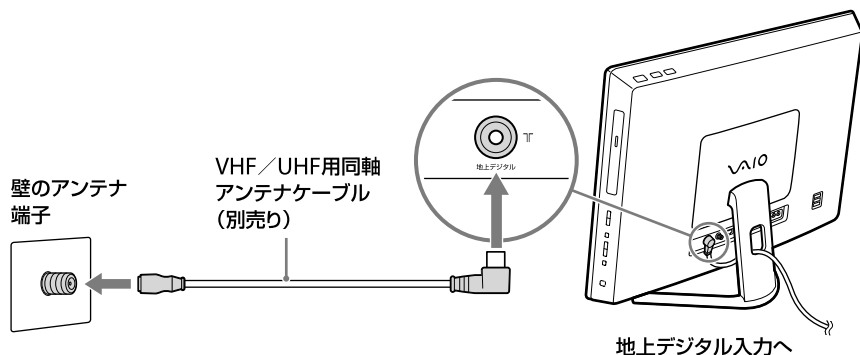
分波器を使って地上波とBS ／ 110度CSを分波してつなぎます。

ケーブルテレビを見る（33ページ）

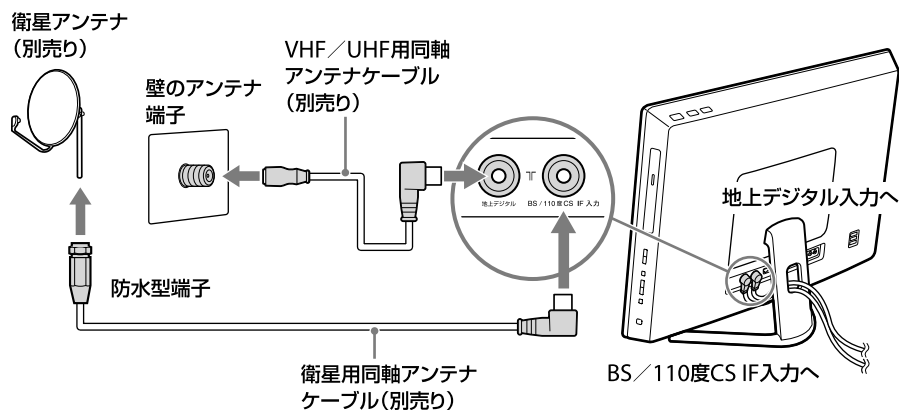
ケーブルテレビのアンテナとつなぎます。

すでにデジタルレコーダーやテレビが壁のアンテナ端子に接続されており、本機をあらたに接続する場合

すでに接続されているデジタルレコーダーやテレビのVHF ／ UHF用同軸アンテナケーブルを取りはずしてから、本機に接続します。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体を使いかた] － [テレビ／ビデオ] － [アンテナを接続する] をクリックする。）

地上波アンテナのみとつなぐ場合

用意するもの（別売り）

VHF ／ UHF用同軸アンテナケーブル　1本

地上波とBS ／ 110度CSが個別の場合

用意するもの（別売り）

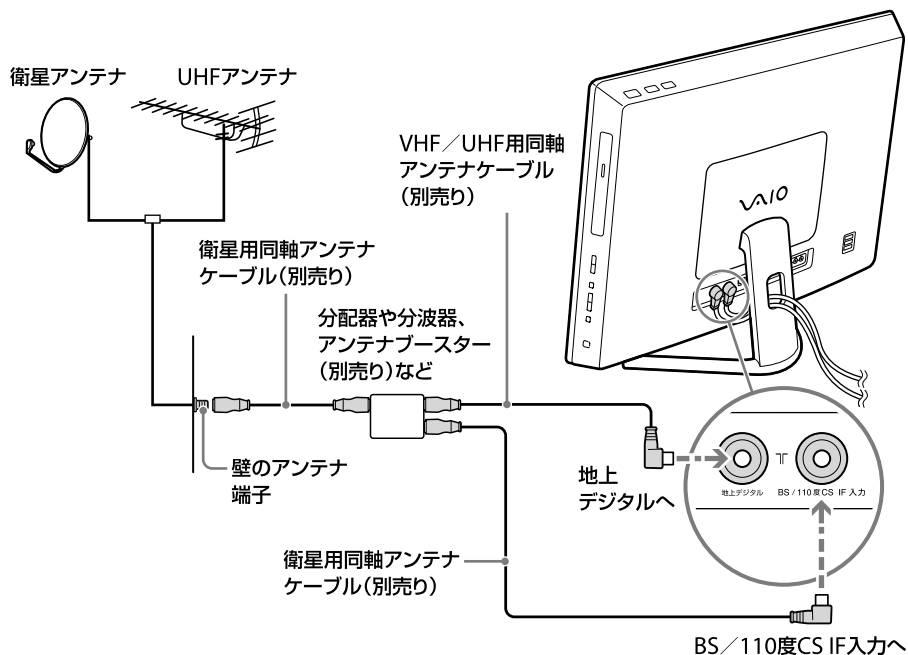
VHF ／ UHF用同軸アンテナケーブル　1本

衛星用同軸アンテナケーブル　1本

衛星アンテナ　1台

ヒント

壁にBS ／ 110度CS用のアンテナ端子が用意されている場合は、別売りの衛星用同軸アンテナケーブルを使用して、BS ／ 110度CS用のアンテナ端子と本機のBS ／ 110度CS IF入力端子をつないでください。

地上波とBS ／ 110度CSが混合の場合

用意するもの（別売り）

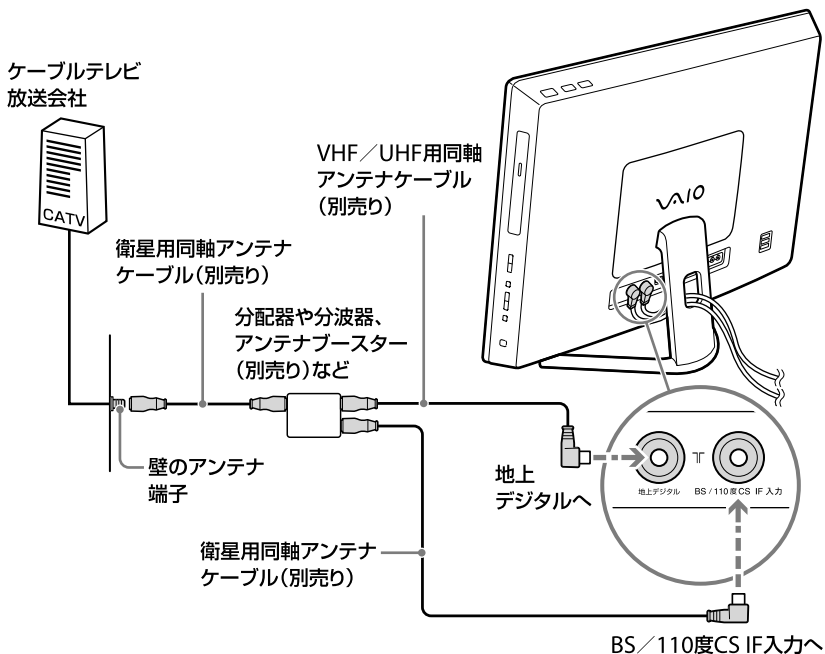
VHF ／ UHF用同軸アンテナケーブル　1本
衛星用同軸アンテナケーブル　2本
分配器、分波器、アンテナブースター　いずれか1個

ヒント

- 壁にBS ／ 110度CS用のアンテナ端子が用意されている場合は、別売りの衛星用同軸アンテナケーブルを使用して、BS ／ 110度CS用のアンテナ端子と本機のBS ／ 110度CS IF入力端子をつないでください。
- テレビなど、他の機器も接続する場合は、より口の多い分配器や分波器、アンテナブースターをお使いください。
- BSデジタル／ 110度CSデジタル放送のお問い合わせ先は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] – [テレビ／ビデオ] – [アンテナを接続する] をクリックする。）

！ご注意

- BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナを接続する場合、本機から電源を供給する必要がある場合があるので、衛星用同軸アンテナケーブル（別売り）で接続してください。
- BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナを接続する場合、本機の電源を入れたまま接続しようとすると、発火するおそれがあります。危険ですので、必ず本機の電源を切ってからアンテナを接続してください。

ケーブルテレビを利用している場合

用意するもの（別売り）

VHF ／ UHF用同軸アンテナケーブル　1本

衛星用同軸アンテナケーブル　2本

分配器、分波器、アンテナブースター　いずれか1個

！ご注意

- 双方向サービスやコンテンツ解析を利用する場合には、インターネットに接続している必要があります。詳しくは「インターネット接続用機器につなぐ」（27ページ）をご覧ください。また、本機では、視聴者参加型のデータ放送など、電話回線が必要なサービスはご利用できません。
- 電話回線を使用した新規加入の申し込みはできません。ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。
- 電源を切ったままの状態やアンテナを接続していない状態が数か月間続くと、有料放送の契約が正常に更新されないことがあります。ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。

地上デジタル放送受信機をはじめてご使用になる方へ

お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているかご確認ください。
詳しくは、アンテナの販売店や社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp）、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（ナビダイヤル0570-07-0101）などにお問い合わせください。
受信障害がある環境など、放送エリア内でも受信できない場合がありますのでご注意ください。

個人住宅など、アンテナで直接受信する場合

地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。VHFアンテナでは受信できません。現在お使いのUHFアンテナでも、地上デジタル放送に対応していればそのまま使えます。ただし、対応していない場合はUHFアンテナの交換が必要です。
また、地域によっては、地上デジタル放送の送信所にあわせてアンテナの向きを変える必要がある場合があります。
詳しくは、販売店にお問い合わせください。
なお、ケーブルテレビで受信・視聴するときは、UHFアンテナは不要です。

！ご注意

地上アナログ放送は受信できません。

マンションやアパートなど、集合住宅の場合

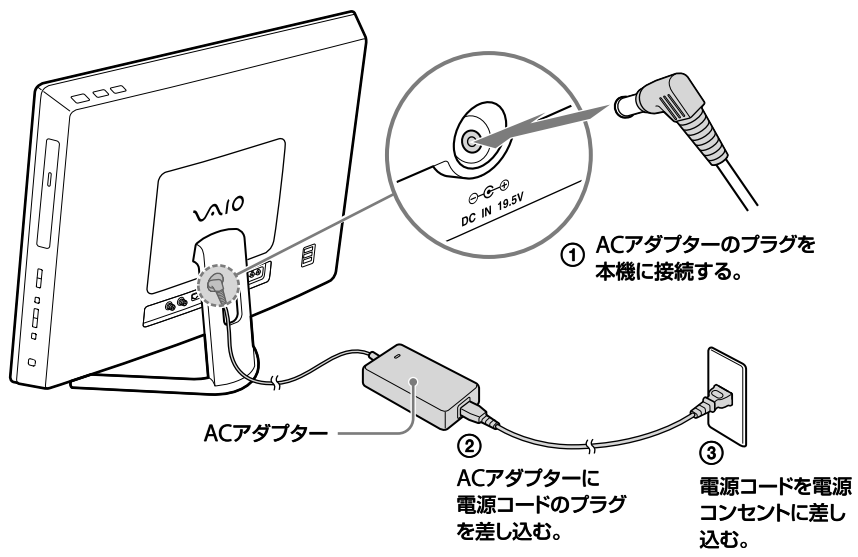
現在の設備で地上デジタル放送が見られるか、確認が必要です。
お住まいの管理組合または管理会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ（CATV）について

地上デジタル放送は、ケーブルテレビでも受信・視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。なお、ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機は同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応しています（トランスモジュレーション方式には対応していません）。

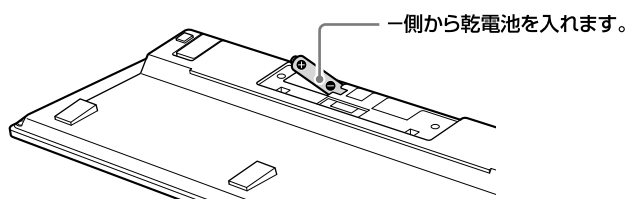
送信方式	内容
パススルー方式	受信した電波を変調方式を変えずに伝送する方式。
同一周波数パススルー方式	地上デジタル放送が使用するUHF帯の電波を、放送の周波数のままでケーブルテレビ網に再送信する方式。
周波数変換パススルー方式	受信した電波を、放送の周波数とは異なる周波数に周波数変換してケーブルテレビ網に再送信する方式。

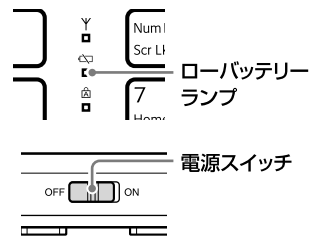
4 コンセントに接続する

本体後面のDC IN 19.5V端子にACアダプターを接続し、電源コンセントに接続します。

！ご注意

- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。交流100Vでお使いください。
- お使いの機種や型名によっては、ACアダプターのプラグの形状が異なる場合があります。

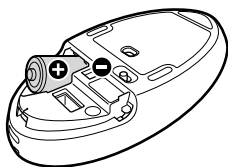
5 キーボードを準備する

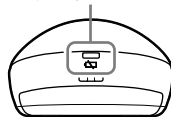
キーボード裏面にある乾電池入れのふたを開け、付属の単3形アルカリ乾電池を入れます。乾電池を入れたら、ふたを閉めます。

ヒント

- キーボードにあるローバッテリーランプでキーボードの乾電池の容量が充分かどうか確認できます。充分でない場合は、ランプが点滅します。
- キーボードを長時間使わないときは、電源スイッチを「OFF」にすると電池寿命が延びます。

!ご注意

- しばらくキーボードを使わないときは電源スイッチを「OFF」にしてください。また、長い間キーボードを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- 電池についての安全上のご注意について、詳しくは「電池についての安全上のご注意」(19ページ)をご覧ください。

6 マウスを準備する

マウスを裏返して乾電池入れのふたを開け、付属の単3形アルカリ乾電池を入れます。乾電池を入れたら、ふたを閉めます。

ヒント

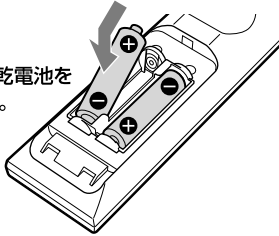
- マウスにあるステータスランプでマウスの乾電池の容量が充分かどうか確認できます。充分でない場合は、ランプがオレンジ色に点滅します。
- マウスを長時間使わないときは、電源スイッチを「OFF」にすると、乾電池の寿命が延びます。

!ご注意

- しばらくマウスを使わないときは電源スイッチを「OFF」にしてください。また、長い間マウスを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- 電池についての安全上のご注意について、詳しくは「電池についての安全上のご注意」(19ページ)をご覧ください。

7 リモコンを準備する（リモコン付属モデル）

リモコンを裏返して乾電池入れのふたを開け、付属の単3形マンガン乾電池を入れます。乾電池を入れたら、ふたをスライドさせて閉めます。

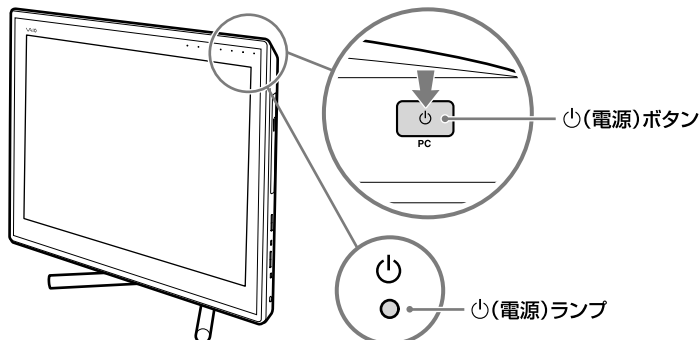
ヒント

- 本機のリモコン受光部とリモコンの発光部との間に、障害物を置かないでください。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] – [リモコン] をクリックする。）

！ご注意

- 長い間リモコンを使わないときは乾電池を取り出してください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- 電池についての安全上のご注意について、詳しくは「電池についての安全上のご注意」（19ページ）をご覧ください。

準備4

電源を入れる

1 本機の⏻(電源)ボタンを押し、⏻(電源)ランプが点灯(緑色)したらはなす。

本機の電源が入り、⏻(電源)ランプが緑色に点灯し、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」(39ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

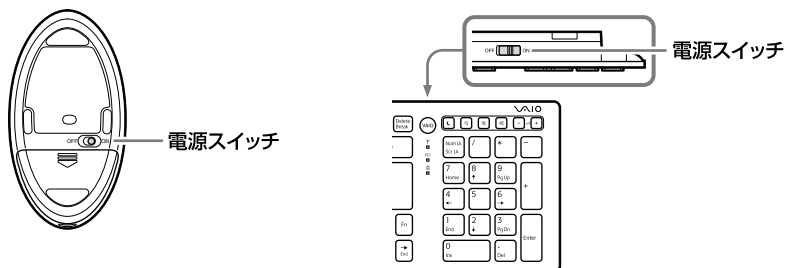
!ご注意

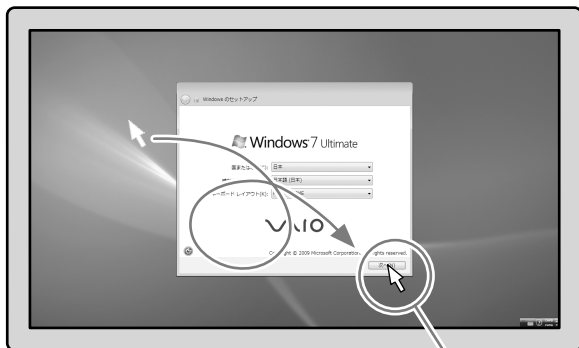
⏻(電源)ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が入りません。

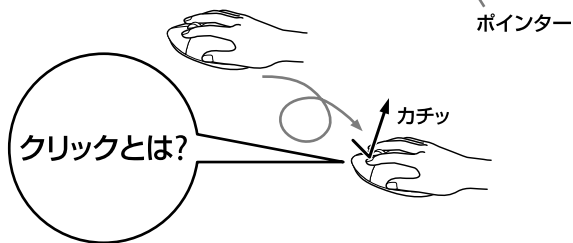
ヒント

- DISPLAY OFFランプがオレンジ色に点灯している場合は、画面が表示されません。画面を表示させたい場合は、DISPLAY OFFボタンを押してください。
- 電源を入れたあと、コンピューターを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、⏻(電源)ランプがオレンジ色で点滅します。

2 マウスとキーボードの電源スイッチを「ON」にする。

準備5

Windowsを準備する

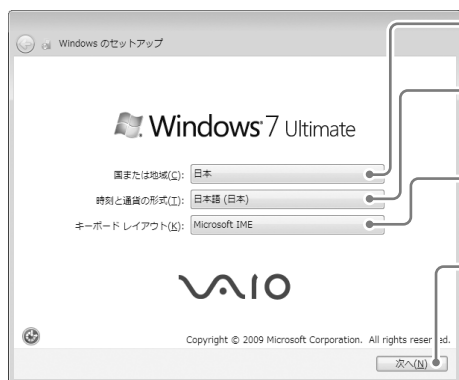
電源を初めて入れたら、
まずWindowsの準備をしましょう。
Windowsの準備が完了すると、
付属のソフトウェアや
いろいろな機能が使えるように
なります。

ヒント

- Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。
- 画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

マウスを動かして、目的の場所の上までポインターを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

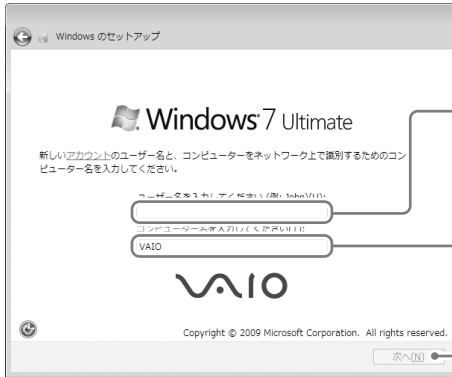
1 電源を入れる。

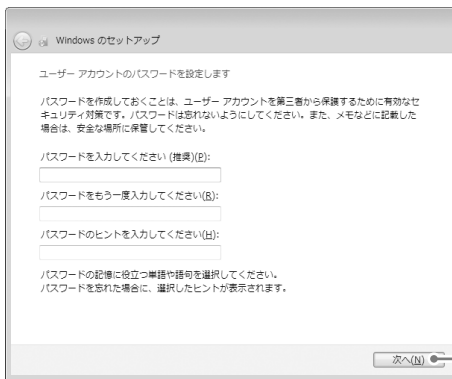
⏻（電源）ボタンを押し（38ページ）、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。電源を切らずにそのままお待ちください。

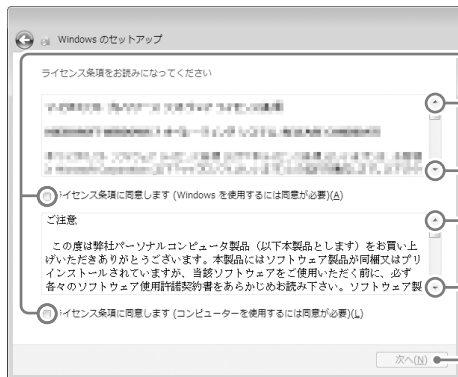
！ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

① [国または地域]で[日本]が選択されていることを確認する。
② [時刻と通貨の形式]で[日本語（日本）]が選択されていることを確認する。
③ [キーボードレイアウト]で[Microsoft IME]が選択されていることを確認する。
④ [次へ]をクリックする。

ヒント
機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

3 ユーザー名とコンピューター名を設定する。

ヒント
ユーザー名やコンピューター名はWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。

4 次の画面へ進む。

[次へ]をクリックする。

ヒント
パスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
パスワードの作成／変更／削除について、詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[セキュリティー]－[Windowsパスワードを設定する]をクリックする。）

5 「ライセンス条項」の内容を確認する。

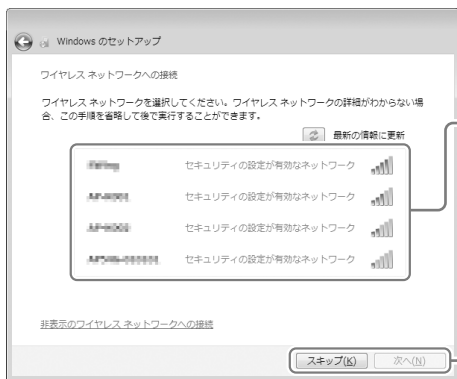
ヒント
画面左上の ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

6 コンピューターの保護の設定をする。

7 日付と時刻の設定を確認する。

8 無線LANアクセスポイントの準備ができている場合は、ワイヤレスネットワークに接続する。有線LANを使う場合は、次の画面へ進む。

ここでの接続はスキップできます。スキップしても、セットアップ完了後にアクセスポイントに接続できます。(56ページ)

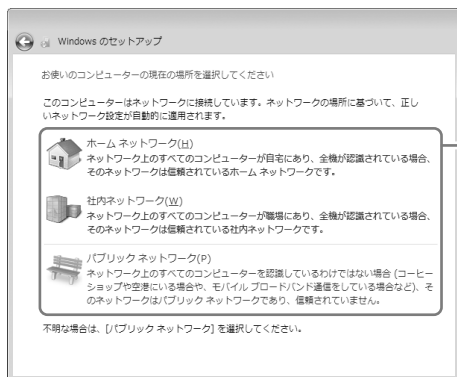
この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

① **無線LANを利用する場合は、接続するアクセスポイント名(SSID)を選択する。**
必要に応じてセキュリティ キーを入力してください。アルファベットの大文字と小文字は区別されます。

② **[次へ]をクリックする。**
有線LANを利用する場合やあとで接続する場合は、[スキップ]をクリックしてください。

ヒント

- 「この接続を自動的に開始します」にチェックをすると、次回から、選択した無線LANアクセスポイントを認識したときに自動で接続します。
- 無線LANアクセスポイントのSSIDやセキュリティ キーがわからない場合は、アクセスポイントを設定した人に聞いてください。

9 コンピューターを使用する場所を選択する。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピューターを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

10 「VAIO をはじめる前の準備」を行う。

VAIOの製品登録などについてのご案内が表示されますので、よくお読みください。

ヒント

製品登録をご案内するためにメールアドレスの入力を行う画面があります。本機で電子メールを使う準備が終わっていなくても、お手持ちのメールアドレスを入力できます。

「VAIOをはじめる前の準備」が終わったら、設定が完了するまでしばらくお待ちください。設定が完了すると自動的にデスクトップ画面が表示されます。

リカバリーメディアについて

セットアップが完了すると、リカバリーメディア作成を促すバルーンが表示されます。
リカバリーメディアの作成について詳しくは、「リカバリーメディアを作成する」(72ページ)をご覧ください。

パスワードについて

パスワードなどのセキュリティー設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るために有効です。パスワードを忘れるとリカバリーが必要になる場合があるため、Windowsのヘルプとサポートを参照して、パスワード リセット ディスクを作成することをおすすめします。
パスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になる場合があるため、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。パスワードを解除するための修理(有償)のときは、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック！

準備6

テレビの設定を行う（テレビチューナー搭載モデル）

本機は、下記のソフトウェアでデジタル放送を楽しめます。
それぞれのソフトウェアで別個に設定を行う必要があります。

ソフトウェア名称	受信できる放送	特徴
Giga Pocket Digital（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）	地上デジタル／BS/110度CSデジタル放送	● 番組の視聴のほか、録画・再生やデータ放送の表示などができる。 ● おすすめ番組機能やその他の便利な機能を搭載。
スグつくTV（「スグつくTV」搭載モデル）	地上デジタル放送のみ	● Windowsを起動せずに使用できるため、画面に番組が表示されるまでの時間が短い。 ● Windowsで他の作業をしているときでも、他のソフトウェアの動作に影響しない。 ● 番組の視聴以外の操作ができない。

Giga Pocket Digitalの設定を行う（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）

「Giga Pocket Digital」をはじめてお使いになるときは、チャンネル設定など初期設定をする必要があります。

ヒント
デジタル放送についての詳しい操作方法や「Giga Pocket Digital」の使いかたなどについて詳しくは、「Giga Pocket Digital」のヘルプまたは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。
デジタル放送の注意事項については、「デジタル放送について」（114ページ）をご覧ください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Giga Pocket Digital テレビを見る］をクリックする。

「Giga Pocket Digital」の初期設定画面が表示されます。

ヒント
デジタル放送の双方向サービスは、インターネットを経由して利用できます。
双方向サービスを利用しない場合は、LANケーブルの接続は不要です。

2 アンテナ接続やB-CASカードの挿入を確認し、[次へ]をクリックする。

アンテナ接続やB-CASカードの挿入方法については、「準備3 接続する」（27ページ）をご覧ください。
地上デジタルに加えて、BS ／ 110度CS放送を見るためには、地上波アンテナと衛星アンテナの両方に接続する必要があります。
確認終了後、モデルによっては衛星アンテナへの電源供給設定に進みます。

3 お住まいの地域を選び、郵便番号を入力して[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント
郵便番号は、データ放送で天気予報などの地域密着の情報を受信するために設定します。

4 画面の指示に従って、チャンネルスキャンを行う。

チャンネルスキャンで表示されたチャンネルが少ない場合は、アンテナの接続を確認し、再度スキャンを行ってください。
チャンネルスキャン終了後、モデルによってはユーザー情報の登録やネットワーク配信設定に進みます。

ヒント
「Giga Pocket Digital」では、CATV事業者側で受信した地上デジタル放送の変調方式を変更せずに再送信するパススルー方式に対応しています。パススルー方式には、周波数を変換するものとそのままのものがありますが、「Giga Pocket Digital」はどちらの方式にも対応しています。

5 設定完了画面が表示されたら、[終了]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。
表示されない場合は、すでにVAIO オリジナル機能の設定が完了しています。

ヒント
- VAIO オリジナル機能の設定を行うと、録画したコンテンツのダイジェスト再生をしたり、CMや店舗／商品情報を表示したりして、デジタル放送を楽しむことができます。
- VAIO オリジナル機能の設定を変更するには、ビデオ一覧画面を表示し、ツールバーの 右側にある▼から[VAIO 解析マネージャーの設定]を選択してください。設定については、「VAIO 解析マネージャー」の設定画面から表示できるヘルプをご覧ください。

初期設定以降の詳しい使いかたについては、「Giga Pocket Digital」のヘルプまたは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

！ご注意
「VAIO 解析マネージャー」を使って、録画したコンテンツの解析をするには、インターネットに接続しておく必要があります。

スグつくTVの設定を行う（「スグつくTV」搭載モデル）

「スグつくTV」をはじめてお使いになるときは、初期設定をする必要があります。

1 **アンテナ接続やminiB-CASカードの挿入を確認する。**

2 **リモコンのスグつくTV電源ボタンを押す。**

「スグつくTV」が起動し、初期設定画面が表示されます。

3 **画面の指示に従って、設定を行う。**

設定が完了すると、次回からはすぐにテレビ放送の画面が表示されます。
操作については、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

ヒント
「スグつくTV」は、Windowsが起動している状態でも起動できます。
その場合、「スグつくTV」を使用中でも、Windowsは起動したままになります。「スグつくTV」を終了するか、リモコンのPC電源ボタンを押すと、Windowsの画面に切り替わります。

「スグつくTV」を終了するには

リモコンのスグつくTV電源ボタンを押します。

セットアップが終わったら

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❑ 製品の登録を行ってください。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の製品登録(無料)]をクリックしてください。

製品の登録に関するお問い合わせ先
My Sony Clubお客様窓口
フリーダイヤル：0120-735-106
携帯電話・PHS・一部のIP電話：0466-31-5129
受付時間：平日　9時～ 18時
土曜、日曜、祝日　9時～ 17時
(年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。)

製品の登録について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」(51ページ)をご覧ください。
([サービスとサポート]－[製品の登録]－[製品を登録する]をクリックする。)

❑ リカバリーメディアを作成してください。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用したり、お買い上げ時以外のOSをインストールしたりすると、リカバリー領域からリカバリーができなくなることがあります。そのような場合に備え、リカバリーメディアを作成してください。リカバリーメディアの作成について詳しくは、「リカバリーメディアを作成する」(72ページ)をご覧ください。

❑ Windows Updateを実行してください。

- より安定した状態でVAIOをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
  ((スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。)

❑ VAIO Updateを実行してください。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。(51ページ)
  ([ソフトウェアの使いかた]－[VAIO Update]をクリックする。)

❑ 電子メールを使いたい。

- 「Windows Live メール」を使って、電子メールをやりとりできます。
  ((スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Live]－[Windows Live メール]をクリックする。)

❑ Microsoft Office(Word、Excel)を使いたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。(51ページ)
  ([ソフトウェアの使いかた]－[Microsoft Office(Word ／ Excel)]をクリックする。)

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 作業中のファイルを保存して、すべてのプログラムを終了する。

2 （スタート）ボタン－[シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻（電源）ランプが消灯します。

！ご注意

本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。

ヒント

お買い上げ時の設定では、⏻（電源）ボタンを押すとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリーに保持したまま（ハイブリッドスリープ、お買い上げ時の設定）、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモードにする]をクリックする。）

画面で見るマニュアルの使いかた

「VAIO 電子マニュアル」には、本書よりも詳しい情報を紹介しています。やりたいことがあるけれど、何をどうすればいいのかわからない場合や、トラブルの解決方法を調べる場合などは、「VAIO 電子マニュアル」をご利用ください。
「VAIO 電子マニュアル」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO 電子マニュアルの使いかた

VAIO 電子マニュアルを表示する

1 **（スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

VAIO 電子マニュアルの基本操作

1 大項目を選ぶ
「コンピューター本体の使いかた」や「Q&A 集」など、調べたい項目を選びます。

2 目的の情報を選ぶ
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。
さらに表示される一覧から必要な情報を選びます。

3 表示された説明を読む
画面の右側に情報が表示されます。

ヒント
「VAIO 電子マニュアル」に表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

ソフトウェアの探しかた

「VAIO ナビ」を使うと、使用目的にあった項目をクリックするだけで、最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。
やりたいことが決まっているけれど、どのソフトウェアを起動すればいいかわからないときなどに便利です。
「VAIO ナビ」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO ナビの使いかた

VAIO ナビを表示する

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリックする。**

「VAIO ナビ」が表示されます。

VAIO ナビの基本操作

1 大項目を選ぶ
「写真・ビデオ」や「音楽」など、やりたいことのジャンルを選びます。

2 目的の内容を選ぶ
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。

3 ソフトウェアを利用する
ソフトウェアを起動することや、解説を読むことができます。

ヒント
「VAIO ナビ」に表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

HDMI ／ VIDEO入力機能でできること

HDMI ／ VIDEO入力機能とは

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とは、デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送ることができるインターフェースです。高品質な映像や音声が楽しめます。デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCPにも対応しています。
HDMI ／ VIDEO入力機能とは、HDMI出力を持つHDDレコーダーなどの機器を本機のHDMI INPUT端子につないだり、VIDEO機器を本機のVIDEO INPUT端子につないで、本機で映像や音声を楽しむ機能です。
この機能を使うと、コンピューター本体を起動させることなくHDMI ／ VIDEO機器の映像や音声を楽しむことができます。

ヒント
HDMI ／ VIDEO機器との接続について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] – [HDMI ／ VIDEO入力機能] – [HDMI ／ VIDEO入力機能でできること]をクリックする。）

HDMI ／ VIDEO機器からの入力に切り換える

HDMI ／ VIDEO機器の画面を表示するには

1 本機後面のHDMI INPUT端子（103ページ）またはVIDEO INPUT端子（103ページ）にHDMI ／ VIDEO機器を接続する。

2 本機後面のHDMI INPUT端子またはVIDEO INPUT端子に接続したHDMI ／ VIDEO機器の電源を入れる。

HDMIランプまたはVIDEOランプが緑色に点灯します。
点灯しない場合は、INPUT/OKボタンを押して入力切換メニューを表示し、HDMI ／ VIDEO機器の画面に切り換えてください。

ヒント
HDMI ／ VIDEO入力機能を利用するときは、本機の⏻（電源）ボタンを押す必要はありません。

！ご注意
コンピューター本体でBlu-ray DiscやDVDの再生をしたり、テレビ番組を視聴している状態で、「スグつくTV」やHDMI ／ VIDEO機器に表示を切り換えた場合、コンピューター本体での再生が自動で停止する場合があります。コンピューター本体を表示した後に再度再生を開始してください。

HDMI ／ VIDEO機器の音量を調節するには

1 INPUT/OKボタンを押して入力切換メニューを表示し、HDMIまたはVIDEOを選択する。

本機のディスプレイにHDMI ／ VIDEO機器の画面が表示されます。

2 本機右側面のVOL（音量調節）ボタンで音量を調節する。

ヒント
リモコンの音量ボタンでも音量を調節できます（リモコン付属モデル）。

！ご注意
キーボードの音量調節ボタンではHDMI ／ VIDEO機器の音量を調節できません。

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットは、電話回線などで結ばれたコンピューター同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやり取りすることができます。

インターネット／メールに関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダー接続情報 （アカウント名、パスワード、DNSサーバーなど）	プロバイダー
メール設定情報 （メールアドレス、メールアカウントなど）	プロバイダー
コンピューター側の設定	VAIOカスタマーリンク

電子メールのソフトウェアと設定について

電子メールのやり取りには、「Windows Live メール」を使います。（（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Live メール］をクリックする。）
電子メールの設定については、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［インターネット］－［ホームページ／電子メール］－［電子メールを設定する］をクリックする。）

インターネットの接続方法について

本機にLANケーブルを接続する方法（有線LAN）と本機にLANケーブルを接続しない方法（無線LAN）があります。
インターネット接続機器については、「インターネット接続用機器につなぐ」（27ページ）をご覧ください。

無線LANで通信する

インターネット接続用機器の接続と設定が完了し、無線LANアクセスポイント(無線LANルーター)の電源が入っていて動作している状態で行ってください。
設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の[コンピューター本体の使いかた]－[LAN ／無線LAN]と、Windowsのヘルプをご覧ください。

ヒント
無線LANアクセスポイントの機種によっては、無線LAN接続設定を自動で行うものがあります。自動接続設定を利用するためには、無線LANアクセスポイントに付属のソフトウェアを本機にインストールする必要があります。詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

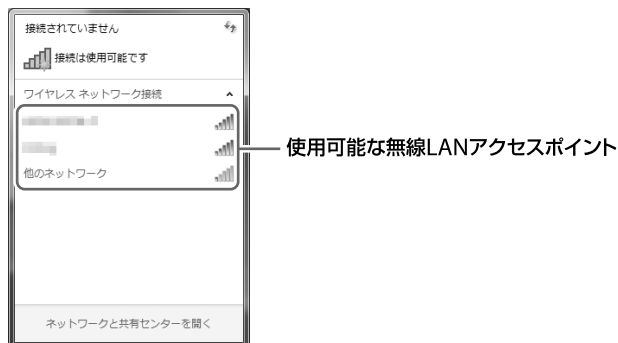
1

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Smart Network]をクリック、またはデスクトップ画面右下の通知領域にある(VAIO Smart Network)アイコンをクリックして、無線LANが有効になっていることを確認する。

無効になっている場合は有効に設定してください。

2

デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク(またはアイコン)をクリックする。

「現在の接続先」画面が表示され、使用可能な無線LANアクセスポイント名(SSID)が表示されます。

ヒント
お使いの無線LANアクセスポイントのSSIDがわからない場合は、無線LANアクセスポイントを設定した人に聞いてください。

3 画面のリストから接続先の無線LANアクセスポイントを選び、[接続]をクリックする。

接続されると、選択した無線LANアクセスポイントの欄に「接続」と表示されます。
リストに接続先の無線LANアクセスポイントが見つからない場合は、（更新）をクリックしてください。
セキュリティー キーを入力する画面が表示されたときは、必要に応じてセキュリティー キーを入力し、[OK]をクリックしてください。

入力時はアルファベットの大文字と小文字が区別されますのでご注意ください。

ヒント
セキュリティー キーがわからない場合は、無線LANアクセスポイントを設定した人にご確認ください。

4 タスクバーの（Internet Explorer）アイコンをクリックする。

VAIOホームページが表示されたら、インターネットに接続されています。表示されない場合は、「VAIO 電子マニュアル」の[コンピューター本体の使いかた]－[LAN ／無線LAN]と、Windowsのヘルプをご覧ください。

接続先を新規に作るには

新規のワイヤレスネットワークに接続する場合は、接続先を作成します。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク（または）アイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示されます。

2 [ネットワークと共有センターを開く]をクリックする。

「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

3 [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックする。

4 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選んで、[次へ]をクリックする。

5 お使いになる無線LANアクセスポイントに合わせて各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

接続先が追加されます。
切り替え先の無線LANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

- 「セキュリティの種類」に「認証なし(オープン システム)」以外を選択した場合は、「セキュリティ キーまたはパスフレーズ」の入力が必要です。
- 無線LANアクセスポイントを認識したときに自動で接続したいときは、[この接続を自動的に開始します]のチェックボックスをオンにします。
- 無線LANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)について、ステルスモードまたはクローズドシステムをお使いの場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックボックスをオンにします。

無線LANの通信を終了するには

「VAIO Smart Network」画面で、「無線 LAN」の「Off」をクリックします。
無線LAN機能がオフになり、WIRELESS(ワイヤレス)ランプが消灯します。

!ご注意

「VAIO Smart Network」画面で他のワイヤレス機能を選択している場合は、WIRELESS(ワイヤレス)ランプは点灯したままです。

インターネットの セキュリティーについて

コンピューターを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティーについてご紹介いたします。

コンピューターウイルスとは

コンピューターウイルスとは、コンピューターに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピューターウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。
コンピューターウイルスの感染経路や被害の例について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［インターネット］－［インターネットについてのご注意］－［インターネットのセキュリティーについて］をクリックする。）

コンピューターウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピューターウイルスに感染することはほとんどなくなります。

コンピューターウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピューターウイルス対策用ソフトウェアは、コンピューター内にコンピューターウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピューターウイルス対策用ソフトウェアとして、「ウイルスバスター」があらかじめ搭載されています。「ウイルスバスター」を設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。
また、お使いの機種によってはスパイウェア対策を行う「Spy Sweeper」も用意されています。

！ご注意

複数のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを同時に使用すると、正常に動作しない場合があります。「ウイルスバスター」以外のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを使用する場合は、「ウイルスバスター」をコントロールパネルからアンインストール（削除）してください。削除方法について詳しくは、Windowsのヘルプとサポートをご覧ください。コンピューターウイルス対策用ソフトウェアについて詳しくは、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
なお、「ウイルスバスター」を削除後の本機の動作保証はいたしません。

Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピューターウイルスは、コンピューターウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
Windowsのセットアップでコンピューターの保護の設定を有効にしていると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

！ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバーの更新はおすすめしません。ドライバーの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバーを更新する場合は、VAIOサポートページ上で提供されるドライバーを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOサポートページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/windows/update/

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピューターに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「ウイルスバスター」のファイアウォール機能を搭載しています。

！ご注意

- ファイアウォール機能の設定についてはお使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティーについて

セキュリティーやコンピューターウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティーやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOサポートページ ウイルス・セキュリティー情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティーに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティー専用窓口
電話番号：0120-70-8103（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
　(0466)30-3016（通話料お客様負担）
受付時間
平日：9時〜 18時
土曜、日曜、祝日：9時〜 17時
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

セキュリティーソフトウェアのお問い合わせ先について

ウイルスバスター 2011クラウド

ウイルスバスターサービスセンター
電話番号（購入に関して）　03-5334-1584
電話番号（製品に関して）　0570-064-719

購入に関して＜営業時間：9：00〜18：00＞
年末年始を除く
製品に関して＜営業時間：9：30〜17：30＞
365日

Spy Sweeper

ウェブルート･ソフトウェア　カスタマーサポートセンター
電話番号：（0570）055250
受付時間：月曜〜日曜：10時〜 12時、13時〜 19時（年末年始を除く）
電子メール：JPcustomer@webroot.com
ホームページ：http://www.webroot.co.jp/

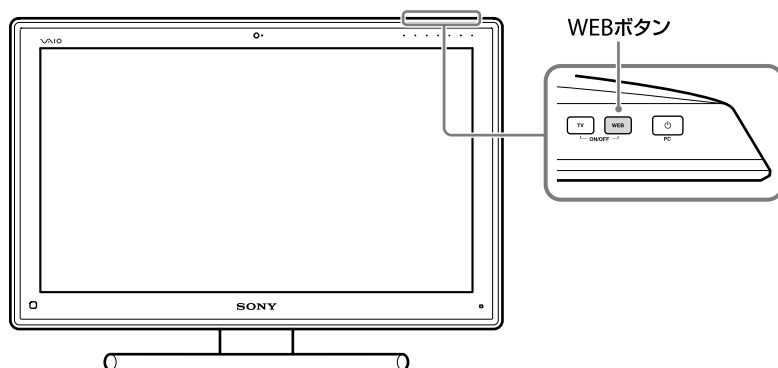
i-フィルター 6.0

デジタルアーツ株式会社　サポートセンター
電話番号：
月曜〜金曜：（03）3580-5678
土曜、日曜、祝日：（0570）00-1334
※デジタルアーツ株式会社指定休業日除く
受付時間：
月曜〜金曜：10時〜 18時
土曜、日曜、祝日：10時〜 18時
※デジタルアーツ株式会社指定休業日除く

Quick Web Accessとは

「Quick Web Access」機能を使うと、Windowsを起動しなくてもインターネットを楽しむことができます。
使いかたや制約事項について詳しくは、Quick Web Accessのヘルプをご覧ください。

「Quick Web Access」機能を起動するには

1 Windowsを終了してから、本体のWEBボタンを押す。

2 初期設定ウィザードに従って設定する。

初期設定を行うと、次回からWEBボタンを押すだけで「Quick Web Access」機能のブラウザーが起動します。

「Quick Web Access」機能を終了するには

画面左下に表示されている (パワー)をクリックします。

ヒント
WEBボタンまたは⏻(電源)ボタンを押しても、「Quick Web Access」機能を終了することができます。

ヘルプを表示するには

使いかたについて詳しくは、「Quick Web Access」機能を起動した後に画面左下に表示されている (ヘルプ)をクリックしてください。

「Quick Web Access」機能使用時のご注意

- 「Quick Web Access」機能の起動中は、以下の機能が使用できません。
  - ASSISTボタン
  - タッチパネルの一部の機能(タッチパネル搭載モデルのみ)
  - Windowsキー
  - アプリケーションキー
  - Fnキーと組み合わせたショートカットキー
  - Scr Lkキー
  - (ズームイン)／(ズームアウト)ボタン
  - VAIOボタン
  - (スリープ)ボタン
  - (消音)ボタン
  - (音量調節)ボタン
- LAN端子や無線LAN機能、(ヘッドホン出力)端子は使用できますが、その他の端子やメモリーカード類は使用できません。なお、(USB)端子は接続する機器によって使用状況が異なります。

増設する

メモリーを取り付ける／はずす

メモリーを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
また、2か所以上のスロットにメモリーモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、さらにパフォーマンスが向上します。
お使いの機種のメモリーについては、別紙「主な仕様」をご覧ください。

メモリーを増設するときのご注意

- メモリーの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリーの増設を行った場合には、内部端子の接続不備や破損、メモリーの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリー増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリー増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリー増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリー増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてスタンドを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリーモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリーモジュールの販売元にご相談ください。

メモリーを取り付けるには

！ご注意

- スタンドを取りはずすと、メモリーモジュールを取り付けるスロットが上下2段に配置されています。1枚だけメモリーを取り付ける場合は、上側のスロットを空けて、必ず下側のスロットに取り付けてください。
- メモリーモジュールの取り付けは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリーモジュールを取り付けると、メモリーモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリーモジュールが破損しないように、メモリーモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリーモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。

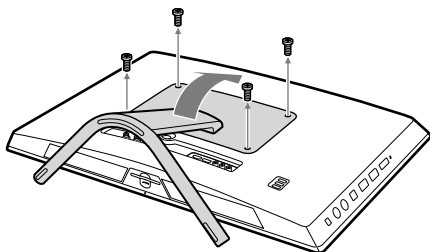
- メモリーモジュールを持つときは半導体や端子に触れないようにしてください。
- メモリーモジュールには、向きがあります。メモリーモジュールのエッジ端子の切り欠き部分とスロットの端子(溝の内側)部分の突起の位置を正しく合わせてください。無理に逆向きにメモリーモジュールをスロットに押し込むと、メモリーモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび本機に接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

2 本機前面を下にして置く。

!ご注意
- 本機に傷がつかないように布などをしいてください。
- 本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

3 スタンドを取りはずす。

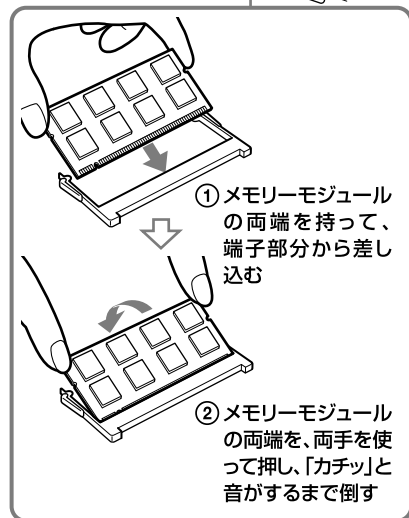
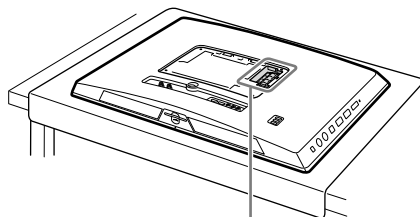
ネジをはずして、スタンドを取りはずします。

!ご注意
スタンドの取りはずしは、かためには調整されています。本体下部を押さえながら、はずれるまで少し力をいれて引き上げてください。

4 メモリーモジュールを取り付ける。

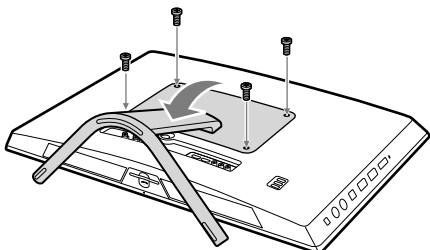
空きスロットがない場合は、取り付けられているメモリーモジュールを取りはずしてください。
メモリーモジュールにはエッジ端子部分に切り欠きがあります。

① メモリーモジュールのエッジ端子部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝に合わせて、奥までしっかりと差し込む。

!ご注意
エッジ端子部分を傷つけないようにご注意ください。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリーモジュールをゆっくりと倒す。
メモリーモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリーモジュールの黒いICの部分を触らないでください。

！ご注意

- メモリーモジュール以外の部品や基板などには触れないようにご注意ください。
- メモリーを取り付ける際は、内部に異物を落とさないようにしてください。故障の原因となります。
- メモリーモジュールを1枚だけ取り付ける場合は、必ず下側に取り付けてください。

5 スタンドを元に戻し、ネジで留める。

！ご注意

スタンドの取り付けは、かために調整されています。本体下部を押さえながら、少し力をいれて押し込んでください。

6 手順1で取りはずした周辺機器と電源コードを接続し、本機の電源を入れる。

メモリー容量を確認するには

メモリーモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリー容量を確認してください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO の設定]をクリックする。

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]をクリックする。

3 [システム情報]をクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

4 「システムメモリー」の項目が増設後のメモリー容量になっていることを確認する。

メモリーの容量が正しければ、メモリーの増設は完了しました。
メモリーの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリーモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

ここを確認する。

メモリーを取りはずすには

次の手順でメモリーモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

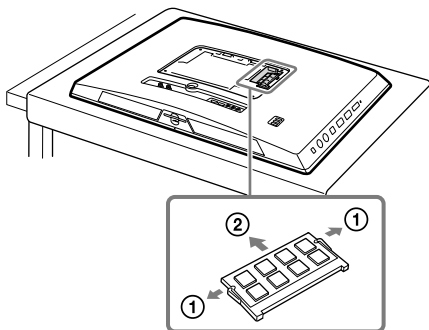
!ご注意

本機に傷がつかないように布などをしいてください。

1 「メモリーを取り付けるには」の手順1 ～ 3を行う。

2 メモリーモジュールを取りはずす。

① メモリーモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリーモジュールを矢印の方向にゆっくり引き抜く。

3 「メモリーを取り付けるには」の手順5 ～ 6を行う。

!ご注意

- メモリーモジュールの取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリーモジュールを取りはずすと、メモリーモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリーモジュールが破損しないように、メモリーモジュールを取りはずすときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリーモジュールを持つときは半導体や端子に触れないようにしてください。
  - メモリーモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

バックアップ

バックアップとは

バックアップとは、コンピューターに保存されたデータをDVDなどのメディアや外付けハードディスクなどにコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。

バックアップの必要性

本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピューターウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。
バックアップについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［増設／ BIOS ／バックアップ／リカバリー］－［バックアップ］－［バックアップとは］をクリックする。）

バックアップと復元を行う

ここでは、Windowsが起動しない場合のデータバックアップや復元方法について説明します。

ヒント
Windowsが起動する場合のデータバックアップや復元方法について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［増設／ BIOS ／バックアップ／リカバリー］－［バックアップ］－［バックアップと復元を行う］をクリックする。）

「VAIO Care レスキュー」を使ってデータをバックアップする

1 **本機の電源が切れている状態でASSISTボタンを押し、「VAIO Care レスキュー」を起動する。**

2 **［ツール］－［VAIO データレスキューツール］をクリックする。**

以降、画面の指示に従って操作してください。

ヒント
バックアップ方法で、［高度なレスキュー］を選択した場合は、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

バックアップデータを復元する

システムの復元ポイントから復元する

システムの復元ポイントの作成を行っていた場合は、復元ポイントから復元して本機の調子が悪くなる前の状態に戻すことができます。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブまたは(USB)端子にリカバリーメディアを挿入する。

2 本機の電源を切ってから、再び電源を入れる。

USBメモリーを使用する場合は、再び本機の電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが消えるまでF11キーを繰り返し押してください。
「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。
「Windows ブートマネージャー」画面が表示されない場合は、本機を再起動してもう一度やりなおしてください。

ヒント
リカバリーメディアを使わずにシステムの復元ポイントから復元することもできます。
本機の電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを繰り返し押してください。
「詳細ブート オプション」画面が表示されたら、一番上の「コンピューターの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押し、手順4に進んでください。

3 矢印キーで「Windows 回復環境(Windows RE) 」を選択し、Enterキーを押す。

4 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
- Windows 7 Ultimate搭載モデルをお使いの場合で、BitLockerドライブ暗号化をご使用の場合は、「BitLockerドライブ暗号化の回復」画面が表示されることがあります。暗号化を一時的に解除しますので、画面の指示に従って設定してください。
- F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順6へ進んでください。

5 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

6 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。

7 [次へ]をクリックする。

8 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

9 表示された内容を確認して、[完了]をクリックする。

10 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

11 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

「VAIO Care レスキュー」を使ってバックアップしたデータを復元する

本機の状態が回復したら、ファイルのバックアップデータを復元します。
復元方法について詳しくは、「VAIO データリストアツール」のヘルプをご覧ください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

以降、画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- Windowsの「バックアップと復元」でバックアップしたデータの復元方法は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([増設／ BIOS ／バックアップ／リカバリー]－[バックアップ]－[バックアップと復元を行う]－[バックアップデータを復元するには]をクリックする。)
- 復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダーから移動してお使いください。

リカバリー（再セットアップ）

リカバリーとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリーには、リカバリー領域からリカバリーする方法とリカバリーメディアを使ってリカバリーする方法の2種類があります。

！ご注意

リカバリーメディアは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ずリカバリーメディアを作成してください。

リカバリー領域とは

リカバリー領域とは、リカバリーを行うために必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリー領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリー領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリー領域からリカバリーできなくなる場合があります。

リカバリーメディアの必要性

リカバリーメディアは、本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すときに使用します。
本機は、リカバリーメディアを使用しなくても、ハードディスクのリカバリー領域からリカバリーすることができますが、下記のような操作を行った場合にリカバリー領域の情報を書き替えてしまい、リカバリー領域からリカバリーできなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO Care レスキュー」を使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合はリカバリーメディアによるリカバリーが必要となりますが、リカバリーメディアを作成していないと、リカバリーメディアを購入したり、有償による修理が必要となりますので、必ず事前にリカバリーメディアを作成してください。（72ページ）

リカバリーやリカバリーメディアの作成に使用するソフトウェア

リカバリーやリカバリーメディアの作成は、下記のソフトウェアを使って行います。

- **「VAIO Care」**
  リカバリーメディアを作成したり、「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査したりすることができます。
- **「VAIO Care レスキュー」**
  本機をリカバリーしたり、Windowsが起動しない状態でデータをバックアップしたりすることができます。
  また、ハードディスクのデータを完全に消去する場合に使用します。

ヒント

使いかたについて詳しくは、「VAIO Care」および「VAIO Care レスキュー」のヘルプをご覧ください。

リカバリーメディアを作成する

ヒント

- リカバリーメディアとしてDVDやUSBメモリーを使用できますが、データの上書きを防ぐため、DVD-Rの使用をおすすめします。お使いのディスクドライブが対応している場合は、DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-RWも使用できます。
使用できるメディアの種類、必要なディスクの枚数やUSBメモリーの容量は、リカバリーメディア作成手順の中で画面上に表示されます。
- リカバリーメディアを作成する前に、VAIO Updateを実行して本機をアップデートすることをおすすめします。
VAIO Updateについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフトウェアの使いかた] － [VAIO Update]をクリックする。）
VAIO Updateが搭載されていないモデルをお使いの場合は、VAIOサポートページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）からお客様が選択されたモデルに該当するアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
また、本機をリカバリーした際には再びVAIO Updateを実行してください。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Care]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「VAIO Care」画面が表示されます。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

2 画面左側の[リカバリーと復元]－[リカバリー]をクリックし、右側の画面に表示された[リカバリーメディアの作成]をクリックする。

3 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

！ご注意

- リカバリーメディアの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリーメディア作成の失敗の原因になる場合がありますので、作成中はリカバリーメディアを取り出さないでください。
- 作成したリカバリーメディアは、なくさないよう大切に保管してください。
- お使いのUSBメモリーによっては、リカバリーメディアとして正しく動作しない場合があります。
詳しくは、「VAIO Care」のヘルプをご覧ください。

リカバリーメディアのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリーメディアを有償にてご提供するサービスを行っています。
詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/recoverydisc/

* ホームページからお申し込みいただくには、製品の登録が必要です。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] － [製品の登録] － [製品を登録する]をクリックする。）

リカバリーする

本機をリカバリーするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリー領域からリカバリーする
  ハードディスクのリカバリー領域からリカバリーするため、リカバリーメディアを使うよりも速くリカバリーすることができます。
- リカバリーメディアを使ってリカバリーする
  リカバリー領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリーメディアを使ってリカバリーすることができます。ただし、リカバリー領域からリカバリーするよりも時間がかかります。

リカバリー領域からリカバリーするには

1 本機の電源が切れている状態でASSISTボタンを押し、「VAIO Care レスキュー」を起動する。

ヒント

ASSISTボタンを使わずに「VAIO Care レスキュー」を起動することもできます。
本機の電源を入れたら、VAIOのロゴマークが消えるまでF10キーを繰り返し押してください。
ブートオプション(Boot Options)を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。

2 [リカバリーウィザード開始]をクリックする。

「リカバリーを開始しますか?」画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作してください。

3 [はい、開始します]チェックボックスにチェックを付け、[リカバリー開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- すべてのパーティションがお買い上げ時の状態に戻ります。C:ドライブのみをリカバリーする場合などは、[ツール]－[高度なリカバリーウィザードを開始]をクリックしてください。
- [ツール]－[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリーを行う前にハードウェア(CPU、メモリー、ハードディスク)の検査を行うことができます。
- リカバリー用のデータを削除していない場合は、複数のリカバリーメディアのうち、一部を使用せずにリカバリーが完了することがあります。

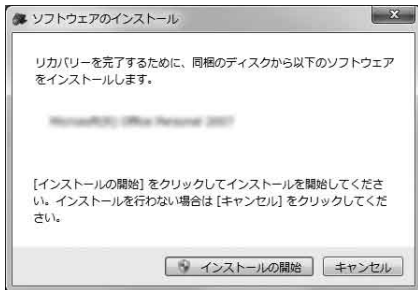
Windowsのリカバリーが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

4 画面の指示に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリーが完了しました。

「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」プリインストールモデルをお使いの場合は、引き続き次の画面が表示されます。[インストールの開始]をクリックし、以下の手順で「Microsoft Office」をインストールしてください。

① 「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」のディスクをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXE の実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。
④ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
「VAIO Care レスキュー」でバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「「VAIO Care レスキュー」を使ってバックアップしたデータを復元する」をご覧ください。(70ページ)

リカバリーメディアを使ってリカバリーするには

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブまたはψ(USB)端子にリカバリーメディアを挿入する。

2 本機の電源を切ってから、再び電源を入れる。

USBメモリーを使用する場合は、再び本機の電源を入れたあと、VAIOのロゴマークが消えるまでF11キーを繰り返し押してください。
「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。
「Windows ブートマネージャー」画面が表示されない場合は、本機を再起動してもう一度やりなおしてください。

3 矢印キーで「VAIO Care レスキュー」を選択し、Enterキーを押す。

以降、「リカバリー領域からリカバリーするには」の手順2からの操作と同様です。

ヒント
USBメモリーからのリカバリーに失敗する場合は、別のψ(USB)端子に挿入してもう一度リカバリーを行ってください。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
「VAIO Care レスキュー」でバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「「VAIO Care レスキュー」を使ってバックアップしたデータを復元する」をご覧ください。(70ページ)

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、次のいずれかの解決方法をお試しください。また、メッセージなどが表示されている場合は書き留めておいてください。お問い合わせのときに、必要になることがあります。

1 本書と電子マニュアルで調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（78ページ）

コンピューターが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
コンピューターが動作するときは、より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（94ページ）

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックしてください。

「Windows ヘルプとサポート」をご覧ください。（96ページ）

「Windows ヘルプとサポートを見る」（96ページ）をご覧ください。

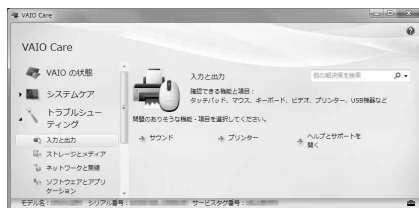
各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（96ページ）

2 VAIO Care で調べる

「VAIO Care」の「トラブルシューティング」をお試しください。（96ページ）

「VAIO Care」の「トラブルシューティング」では、問題の原因と対処方法を調べることができます。項目を選んでいくだけで、診断ツールが問題を分析し、解決方法が見つかった場合は自動で解決します。

起動するには

本機の電源が入っている状態で、本機のASSISTボタンを押してください。

!ご注意
本マニュアルの「サービス・サポート」の記載内容は、2010年6月時点での情報（予定を含む）です。
内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

3 VAIOサポートページで調べる

「VAIOサポートページで調べる」をご覧ください。（97ページ）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOサポートページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

ヒント
インターネットに接続できないときは、「FAX情報サービス」（98ページ）でトラブルの解決方法を調べられます。
「FAX情報サービス」は24時間ご利用可能です。

4 電話で問い合わせる

1～3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。（97ページ）

❏ VAIOの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOに関する使いかたなどのお問い合わせは、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」で承ります。
電話番号や営業時間など詳しくは、「電話で問い合わせる」（97ページ）をご覧ください。

❏ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、VAIOサポートページの「付属ソフトウェアに関するお問い合わせ」をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の⏻（電源）ランプが点灯しないとき）

次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
接続について詳しくは、「コンセントに接続する」（35ページ）をご覧ください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（27ページ）をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れたら「VAIO Care レスキュー」が起動した

A ⏻（電源）ボタンではなくASSISTボタンを押した可能性があります。
「VAIO Care レスキュー」を終了し、⏻（電源）ボタンの位置を確認してください（38ページ）。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

Q 電源を入れると、本機の⏻（電源）ランプは点灯するが、画面に何も表示されない

A DISPLAY OFFランプがオレンジ色に点灯している場合は、DISPLAY OFFボタンを押して画面を表示させてください。
DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンが点灯している間は画面は表示されません。DISPLAY OFFボタンを押し、DISPLAY OFFランプが消えていることを確認して、画面を表示させてください。
DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンの場所について、詳しくは「各部の説明」（101ページ）をご覧ください。

A HDMIランプまたはVIDEOランプが点灯していないか確認してください。
HDMIランプまたはVIDEOランプが点灯している間はHDMI ／ VIDEO入力を表示します。コンピューター本体を表示する場合は、INPUT/OKボタンを押して入力切換メニューを表示し、「PC」を選択してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（電源）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（電源）ランプが消灯するのを確認したあと、電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルなどをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンターやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。
Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A （スタート）ボタン－［シャットダウン］をクリックしても電源が切れない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsのシャットダウン」画面を表示させ、リストから［シャットダウン］を選択して［OK］をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックしてください。
詳しくは、「画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない」（83ページ）をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「シャットダウンしています」などと表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

A 「電源が切れない」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。
ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックする。
- 本機の⏻（電源）ボタンを4秒以上押したままにする。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A Windowsの準備をしようとすると「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示される場合、「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。「リカバリーする」（73ページ）の手順に従って、リカバリーを行ってください。

A 「Remove disks or other media, Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合、フロッピーディスクやCD/DVDなどのディスク、ハードディスクやフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されていないか確認してください。
起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリー機能や自作のリカバリーメディアを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリーしてください。
詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[ハードディスク]－[パーティションサイズの変更について]をクリックする。）

A 「Checking file system on C:」と表示される場合、起動するまでしばらくお待ちください。

A 「Windows Error Recovery」と表示される場合、「Start Windows Normally」 が選択されていることを確認し、Enterキーを押してください。

Q ドライバーをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe（セーフ）モードで起動し、ドライバーを再インストールしてください。

① 本機の⏻（電源）ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。

② 「詳細ブート オプション」が表示されたら、↑／Pg Upキーまたは↓／Pg Dnキーを押して[セーフ モード]を選択し、Enterキーを押す。

③ Windowsが起動したら、（スタート）ボタンー[コントロール パネル]－[システムとセキュリティ]－[デバイスマネージャー]をクリックする。

④ 「デバイスマネージャー」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの[プロパティ]をクリックしてプロパティー画面を表示し、[ドライバー]タブをクリックする。

⑤ [ドライバーを元に戻す]をクリックし、正常に起動していたときのドライバーをインストールする。

⑥ 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q スリープモードに移行できない

A プリンターユーティリティーなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。

A スクリーンセーバーの種類によっては、表示中はスリープモードに移行できないことがあります。
「3D テキスト」など、Windows標準のスクリーンセーバーに変更してください。

パスワード

Q Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administratorsに属するユーザー）が作成されている場合、別の「コンピューターの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザーが作成されていない場合、パスワード設定を解除することはできません。「リカバリーする」(73ページ)の手順に従って、リカバリーを行ってください。

Q パワーオン・パスワード(BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード)を忘れてしまった

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点を確認してください。

- 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
  接続について詳しくは「コンセントに接続する」(35ページ)をご覧ください。
- 本機の電源が入っているか確認してください。
- DISPLAY OFFランプが点灯していないか確認してください。
  DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンが点灯している間は画面は表示されません。
  DISPLAY OFFボタンを押し、DISPLAY OFFランプが消えていることを確認して、画面を表示してください。
  DISPLAY OFFランプやDISPLAY OFFボタンの場所について、詳しくは「各部の説明」(101ページ)をご覧ください。
- HDMIランプまたはVIDEOランプが緑色に点灯していないか確認してください。
  HDMIランプまたはVIDEOランプが緑色に点灯している間はHDMI ／ VIDEO入力を表示します。コンピューター本体を表示する場合は、INPUT/OKボタンを押して入力切換メニューを表示し、「PC」を選択してください。

A 外部ディスプレイやテレビに表示が切り換えられている可能性があります。
Windowsキーを押しながらPキーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り換えてください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻(電源)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(電源)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(電源)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(電源)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプターをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q 画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、[タスクマネージャーの起動]をクリックする。

「Windowsタスクマネージャー」画面が表示されます。

「Windowsタスクマネージャー」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (シャットダウン)ボタンをクリックする。

本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻(電源)ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻(電源)ランプが消灯します。⏻(電源)ランプがオレンジ色に点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

文字入力/キーボード

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A 数字キーで数字が入力できない場合は、通知領域の🔒(ナムロック)のアイコンが灰色で表示されていないか確認してください。

灰色で表示されているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。Num Lkキーを押して、🔒(ナムロック)のアイコンを緑色にさせてから数字を入力してください。

A 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A 「Caps Lock」ランプが点灯していないか確認してください。

「Caps Lock」ランプが点灯していると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。

Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押して、「Caps Lock」ランプが消えているのを確認してください。

Q キーボードが使えない

A 次の点を確認してください。

- 本機とキーボードの距離は、約15cmから約10mの範囲内で使用してください。
  使用環境について詳しくは、「ご使用になる環境について」(25ページ)をご覧ください。
- キーボードは2.4GHz帯の電波を使用しています。
  無線LANなど同じ2.4GHz帯の電波を使用する無線機器を近くでお使いになると、正常に動作しないことがあります。
- キーボードの電源スイッチを「ON」にしてください(38ページ)。本機に付属のキーボードは、乾電池の消耗を抑えるために電源スイッチが付いています。
- キーボードに乾電池を入れてください。
  乾電池の入れかたについて詳しくは、「キーボードを準備する」(35ページ)をご覧ください。
- キーボードのローバッテリーランプが点滅している場合は、乾電池の残量が少なくなっています。
  乾電池を交換してください。乾電池の交換について詳しくは、「キーボードを準備する」(35ページ)をご覧ください。

Q Caps Lock、Num Lkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

A それぞれ以下の方法で確認できます。

- Caps Lock（キャプスロック）
  キーボードの（キャプスロック）ランプが点灯している。
- Num Lk（ナムロック）
  通知領域の（ナムロック）のアイコンが緑色で表示されている。
- Scr Lk（スクロールロック）
  通知領域の（スクロールロック）のアイコンが緑色で表示されている。

ヒント

（ナムロック）のアイコンと（スクロールロック）のアイコンを常にデスクトップ画面右下の通知領域に表示させるには、以下のように設定します。

① デスクトップ画面右下の通知領域のをクリックして、「カスタマイズ...」をクリックする。
「タスクバーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示されます。

② （ナムロック）のアイコンもしくは（スクロールロック）のアイコンの動作を「アイコンと通知を表示」に変更する。

マウス

Q マウスを動かしてもポインターが動かない

A 「マウスが使えない」（86ページ）を確認してください。

A 次の手順で本機の電源を入れ直してください。

① （Windows）キーを押してスタートメニューを表示させ、→キーを押して［シャットダウン］を選択し、Enterキーを押す。

② 電源が切れたあと、約30秒後に本機の（電源）ボタンを押す。

それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、↓キーや→キーを押して（シャットダウン）ボタンを選び、Enterキーを押す。

A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインターが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。
CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない」（83ページ）をご覧ください。

Q マウスが使えない

A 次の点を確認してください。

- 本機とマウスの距離は、約10m以内で使用してください。
  使用環境について詳しくは、「ご使用になる環境について」(25ページ)をご覧ください。
- マウスの電源スイッチを「ON」にしてください(38ページ)。
  本機に付属のマウスは、乾電池の消耗を抑えるために電源スイッチが付いています。
- マウスに乾電池を入れてください。
  乾電池の入れかたについて詳しくは、「マウスを準備する」(36ページ)をご覧ください。
- マウスのステータスランプがオレンジ色に点滅している場合は、乾電池の残量が少なくなっています。乾電池を交換してください。乾電池の交換について詳しくは、「マウスを準備する」(36ページ)をご覧ください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリー機能や、ご自分で作成したリカバリーメディアを使って、本機をリカバリーする必要があります(73ページ)。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。
「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリーする必要があります(73ページ)。

Q ハードディスクから異音がする

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［システム ツール］－［ディスク デフラグ ツール］をクリックする。
「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。

② 最適化するドライブを選択し、［ディスクの最適化］をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q C:ドライブとは別のパーティション（D:ドライブなど）を作成したい

A パーティションを作成し、別のドライブ（D:ドライブなど）として使うことができます。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［ハードディスク］－［パーティションを作成する］をクリックする。）

CD ／ DVD ／ BD

Q ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない

A 本機で使用可能なディスクか確認してください。本機で使用可能なディスクについて詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［CD ／ DVD ／ BD］－［使用できるディスクとご注意］をクリックする。）

A ディスクが正しくトレイに置かれているか確認してください。
ディスクは文字が書いてある面を手前に向けて入れてください。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［CD ／ DVD ／ BD］－［ディスクを入れる／取り出す］をクリックする。）

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A 本機での動作を保証しているドライブかどうか確認してください。
本機での動作を保証しているドライブは、以下になります。
- お買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

A 後からインストールしたディスクの再生・書き込みソフトウェアを削除してください。
お買い上げ時にプリインストールされているソフトウェア以外のディスク再生・書き込みソフトウェアなどを追加でインストールしている場合、正常にディスクが認識されないことやディスクに書き込めないことがあります。
この場合は、追加したソフトウェアを一度削除(アンインストール)してご確認ください。削除の方法は、ソフトウェアのヘルプまたはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

A CPRM(著作権保護機能)対応のDVDを再生するには、インターネットに接続し、再生に必要なパッチをダウンロードする必要があります。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([ソフトウェアの使いかた]－[WinDVD]－[DVDなどのディスクを見る]をクリックする。)

インターネット

Q インターネットに接続できない

A プロバイダーとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダーと契約する必要があります(55ページ)。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダーにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダーから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」(27ページ)をご覧ください。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[インターネット]で[インターネット接続]または[ホームページ]をクリックする。)

Q 無線LANが使えない

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[コンピューター本体]－[LAN／無線LAN]をクリックする。)

Q 無線LANアクセスポイントのSSIDやセキュリティー キーなどがわからない

A 無線LANアクセスポイントを設定した人にご確認ください。

A 無線LANアクセスポイントの機種によっては、無線LAN接続設定を自動で行うものがあります。
自動接続設定を利用するには、無線LANアクセスポイントに付属のソフトウェアを本機にインストールする必要があります。詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

A 無線LANアクセスポイントの設定画面で確認してください。
詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

デジタル放送（テレビチューナー搭載モデル）

Q 地上デジタル放送が受信できない／ときどき映らない／一部のチャンネルが映らない／画像が乱れる。

A 地上デジタルのアンテナ端子に、地上デジタルに対応したUHFアンテナのアンテナ線をしっかりつないでください。

A ご覧のチャンネルに周波数変更が発生した可能性があります。

- Giga Pocket Digital
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側に表示された[再スキャン]をクリックしてください。
再スキャンを行っても映らない場合は、[受信設定]から[初期スキャン]をクリックしてください。
- スグつくTV
「スグつくTV」を起動した状態でリモコンのメニューボタンを押し、[受信設定]－[自動チャンネル設定]を選択して、チャンネルスキャンを行ってください。

A 電波が強すぎたり、弱すぎたりする場合があります。

- Giga Pocket Digital
アッテネーターの設定により、正常に映ることがあります。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側に表示された「地上アッテネーターの設定」の設定を変更後、[適用]をクリックしてください。
- スグつくTV
別売りのアッテネーターまたはブースターを接続することにより、正常に映ることがあります。

Q BSデジタル・110度CSデジタル放送が受信できない／ときどき映らない／一部のチャンネルが映らない／画像が乱れる。（Giga Pocket Digital）

A BSデジタル・110度CSデジタルのアンテナ端子に、衛星アンテナのアンテナ線をしっかりつないでください。
アンテナや分配器、分波器、ブースターなどが、BSデジタル・110度CSデジタルに対応していないと受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

A 衛星アンテナの電源設定を、正しく設定してください。
衛星アンテナへ電源供給する場合は、衛星アンテナ電源の設定を［入］に設定してください。
マンションなどの共同受信システムの場合は、［切］に設定してください。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［衛星アンテナ電源］をクリックし、画面右側に表示された「衛星アンテナ電源の設定」を正しく設定し、適用してください。

A 衛星放送のチャンネルのアンテナレベルを確認しながら、衛星アンテナの位置・方向・角度を調整してください。
アンテナレベルの表示を確認するには、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［受信設定］をクリックし、画面右側に表示された［アンテナレベルを表示］をクリックしてください。
衛星放送のチャンネルは、BS1 ～ BS23、ND2 ～ ND24です。

A 電波が強すぎたり、弱すぎたりする場合があります。
アッテネーターの設定により、正常に映ることがあります。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［受信設定］をクリックし、画面右側に表示された「衛星アッテネーターの設定」の設定を変更後、［適用］をクリックしてください。

A 有料のBSデジタルや110度CSデジタルのチャンネルの場合、受信契約（加入申し込み）を行い、受信契約をしたB-CASカードを入れてください。

Q デジタル放送の映像が映らない。

A B-CASカードが正しい向きで挿入されているか確認してください。
BSデジタル・110度CSデジタル放送対応モデルの場合、有料放送を視聴するには、受信契約をしたB-CASカードを入れてください。

A 放送休止中の番組やチャンネルではないかを確認してください。

A 外部モニターに出力する場合は、HDMIケーブルでテレビや外部ディスプレイと接続してください。（Giga Pocket Digital）

Q 他の機器ではテレビ視聴できるが、本機ではテレビ視聴ができない。

A コンピューターに搭載されているチューナーは、テレビなどに搭載されているチューナーとは仕様が異なります。
そのため、ご使用の環境によっては、コンピューターに搭載されるチューナーに適した調整が必要な場合があります。
以下を確認してください。（Giga Pocket Digital）

- 受信電波が強いため、視聴できない場合があります。「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［受信設定］をクリックし、アンテナレベルの設定で［地上アッテネーターを利用する］または［衛星アッテネーターを利用する］にチェックを付けてください。
- チャンネルスキャンでチャンネルが検出されていても、アンテナ受信レベルによっては正常に視聴できないことがあります。
  設置されているアンテナの向きが正しいか確認し、必要に応じてブースターを使用してください。
- BSデジタル放送／ CSデジタル放送などの受信電波が混在する場合、分波器が必要なことがあります。必要に応じて分波器を使用してください。

Q チャンネルボタンで選局できない。（Giga Pocket Digital）

A 「Giga Pocket Digital」を起動してください。
それでも選局できない場合は、チャンネルスキャンを行ってください。

A リモコンの数字ボタンに割り当てるチャンネルを設定してください。
チャンネル設定は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から［視聴］－［チャンネル一覧］をクリックし、画面右側に表示された設定エリアで行ってください。

Q デジタル放送のチャンネルが切り替わらない。（Giga Pocket Digital）

A 録画実行中はチャンネルを切り換えられないことがあります。

Q 番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない。

A お買い上げ時や長時間コンピューターを起動していなかった場合など、番組情報が取得されていない場合があります。
番組表を表示しているときに［更新］を選択して、番組情報を取得し直してください。

Q 検索をしたときに表示される番組数が少ない。（Giga Pocket Digital）

A お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態のときは、次に電源を入れたあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。
休止状態、電源オフ状態では、放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

Q 音声が出ない／音声がおかしい。

A 消音の設定になっていないか確認してください。

A 音量を確認してください。

A BLUETOOTHヘッドホンおよびスピーカーやUSBオーディオ機器から音声は出力されません。

A 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっていないか確認してください。

Q メニューで選べない項目がある。(Giga Pocket Digital)

A 灰色表示されている項目は選べません。
お使いの状態によっては、選べない場合があります。

Q 「B-CASカードを読み取れません。」または「B-CASカードが正しく挿入されていません。」と表示される。

A B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください。

Q 「この番組はコピープロテクションにより録画できません」と表示される。(Giga Pocket Digital)

A 録画できない番組です。

Quick Web Access

Q 「Quick Web Access」機能を使いたい。

A 「Quick Web Access」機能については、「Quick Web Accessとは」(62ページ)をご覧ください。

Q 「Quick Web Access」機能が起動しない。

A Windowsが終了している状態以外からは「Quick Web Access」機能を起動することはできません。
休止状態やスリープモードの場合は、Windowsの電源を切ってから、「Quick Web Access」機能を起動してください。

エラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない」(80ページ)を確認してください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」で検索する

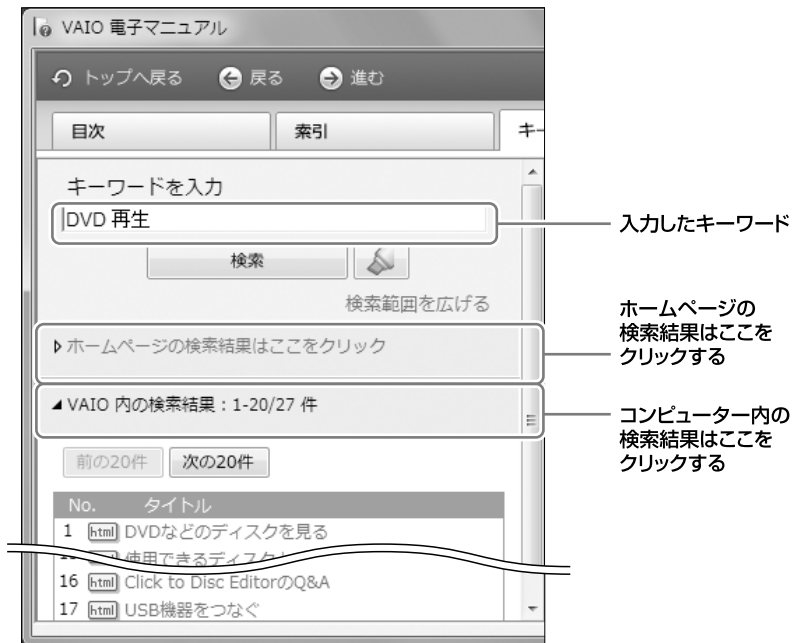
「VAIO 電子マニュアル」では、取扱説明書（本書）より詳しい情報を掲載しています。
「VAIO 電子マニュアル」を起動して、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。
検索機能を使うと、「VAIO 電子マニュアル」の情報だけでなく、付属ソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネット接続時はVAIOサポートページからも情報を検索できます。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 トップページまたは「キーワード検索」ページの検索窓に、調べたいキーワード（単語）を入力し、［検索］をクリックする。

画面左側に検索結果が表示されます。

入力欄に複数のキーワード(単語)をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
(例:DVD　再生)

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」やヘルプのトピックは、画面右側に表示されます。
VAIOサポートページの内容は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

(スタート)ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアの詳しい使いかたを知りたいときは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
ヘルプでは、デスクトップ画面上で問題の解決方法についての情報を検索して、表示することができます。

VAIO Careで調べる

本機に付属の「VAIO Care」を使うと、トラブルが起きたときに適切な処置や対応策を調べることができます。
また、VAIOを最適な状態に保つための定期的なチェックも行えます。

VAIO Careを起動するには

電源が入っている状態で、本機のASSISTボタンを押します。

ヒント

電源が入っていない状態でASSISTボタンを押すと、「VAIO Care レスキュー」が起動します。「VAIO Care レスキュー」はリカバリーを行うためのソフトウェアです(71ページ)。

その他のサービスとサポート

VAIOサポートページで調べる

VAIOサポートページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

製品別の最新情報やよくある質問、Q&Aの検索サービスをご提供しています。詳しくは、「VAIO電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] − [VAIOサポートページ] − [VAIOサポートページで調べる] をクリックする。）

電話で問い合わせる

「使い方相談窓口」のご利用について

「使い方相談窓口」は、VAIOをご購入された日から1年間は無料でご利用いただけます。（「製品登録」が必要）。2年目以降のお客様によるご利用は有料です。「VAIO使い方有料サポート」をご利用ください。
「使い方相談窓口」をご利用いただく前に、VAIOサポートページ「使い方相談サポートご利用規約」をお読みください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/terms.html
「使い方相談サポートご利用規約」は、FAX情報サービスでも提供しています。
0466-30-3040（資料番号8001）
音声ガイダンスの操作手順に従ってクレジットカード情報をご入力いただく場合があります。ただし、ご入力いただいた時点では課金されません。
お問い合わせが有料となる場合は、課金の前にオペレーターよりご案内いたします。

❑ 無料と有料の区分

VAIOご購入日から1年間	無料 （「製品登録」が必要）
VAIOご購入日から 2年目以降	有料 （1案件：2,100円）

❑ お支払方法

クレジットカードでのお支払いとなります。ご利用可能なカード会社は、VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/ダイナースです。

❏ VAIO使い方有料サポートについて

VAIOご購入日から2年目以降のお客様はお問い合わせ１案件につき、2,100円（税込）となります。また、複数案件まとめてお問い合わせいただく際には、お得な料金でご利用いただけるプラン（3案件：5,250円（税込））もご用意しております。詳しくはオペレーターにご相談ください。また、下記のホームページも合わせてご覧ください。

VAIOサポートページ「電話で問い合わせ」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

電話番号：（0120）60-3399（フリーダイヤル）

（ロクゼロ　サンサンキュウキュウ）

※「製品登録」がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間 平日：9時～ 18時　土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。フリーダイヤルは「製品登録」後、1 ～ 2時間程度でご利用が可能になります。詳しくは「セットアップが終わったら」（49ページ）をご覧ください。**
- **「製品登録」がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。電話番号や受付時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

メールで問い合わせる／ FAXで取り寄せる

VAIOサポートページ「メールで問い合わせ」
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/mail/

VAIOサポートページで質問を受け付け、電子メールで回答を差し上げるサービスです。（VAIOの使いかたなど技術的な質問に限ります。）

詳しくはホームページをご覧いただくか、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] － [お問い合わせ／アフターサービス] － [メールで問い合わせる／ FAXで取り寄せる] をクリックする。）

VAIOカスタマーリンク「FAX情報サービス」
FAX番号：（0466）30-3040

トラブルの解決方法や各種情報をFAXで入手できます。応答する音声ガイダンスに従って操作し てください（24時間ご利用可能）。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

❑ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

❑ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

❑ 修理について

当社ではパーソナルコンピューターの修理を引取修理によって行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にご返送いたします。詳しくは、次の「修理を依頼されるときは」をご覧ください。

❑ 部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

故障と思われる症状の中には、修理を必要とせず、設定の変更などで解決できるものが多くあります。修理を依頼される前に、下記のご確認をお願いします。

- 「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOサポートページ」などで、お使いのVAIOの症状に合うものがないかご確認ください。

❑ VAIOサポートページ「故障とお考えの前に」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/qa.html

詳しくはVAIOサポートページ「故障とお考えの前に」（http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/qa.html）をご覧いただくか、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] – [お問い合わせ／アフターサービス] – [修理を依頼されるときは] をクリックする。）

❑ 海外での修理について

お買い求めいただいたVAIOは、VAIO International Repair Service(VAIO国際修理サービス)の対象機種です。

VAIOのご購入日から1年間は、海外の本サービス対象国および地域においても、保証規定にのっとり、無償で修理を行います。サービス内容やご利用方法など詳しくは、本機に付属の冊子「VAIO International Repair Service(VAIO国際修理サービス)のご案内」をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク「修理相談窓口」

電話番号：(0120) 60-5599(フリーダイヤル)
(ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は (0466) 30-3030(通話料お客様負担)

受付時間：平日：9時～ 20時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
※年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や受付時間は変更になる場合があります。

ヒント

通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。
(一部機種・地域を除く。2010年6月現在)

法人向け修理相談窓口のご案内
「VAIOビジネスクライアントサポートデスク」(法人のお客様専用)
電話番号：(0120) 30-6065(フリーダイヤル)
(サンゼロ　ロクゼロロクゴー)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は(0466) 30-3035(通話料お客様負担)

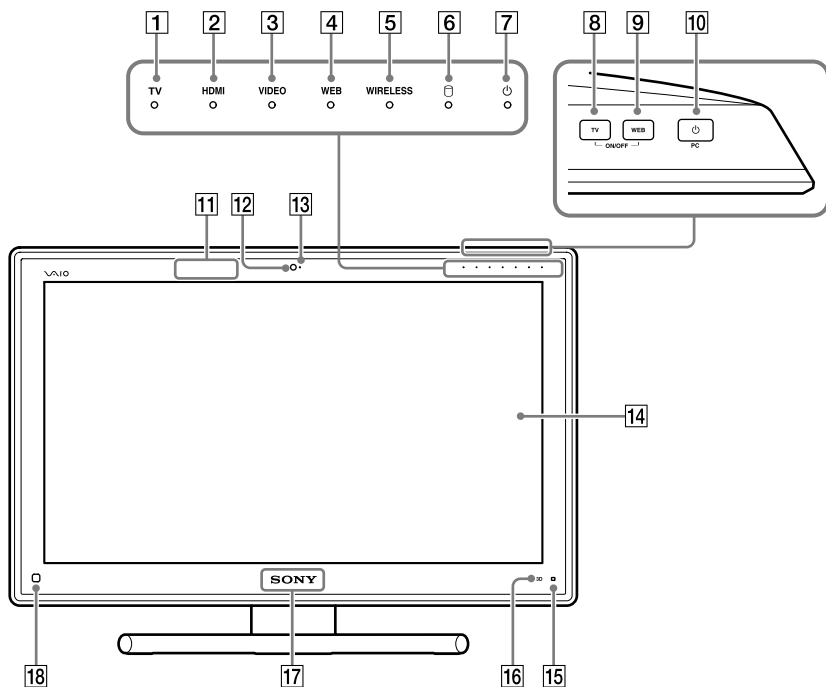
受付時間：平日：10時～ 18時(土日祝日および弊社休業日除く)

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://sony.jp/vaio/myvaio/

VAIOの情報はもちろん、ウェブ検索、ニュース、天気など毎日使える情報が満載です。ぜひご活用ください。

各部の説明

本体前面

1 TVランプ(「スグつくTV」搭載モデル)
「スグつくTV」起動時に緑色に点灯します。

2 HDMIランプ
HDMI入力時に緑色に点灯します。

3 VIDEOランプ
VIDEO入力時に緑色に点灯します。

4 WEBランプ
「Quick Web Access」起動時に緑色に点灯します。

5 WIRELESS(ワイヤレス)ランプ
ワイヤレス機能(無線LAN機能／BLUETOOTH機能)が使える状態のときに、緑色に点灯します。

!ご注意

複数のワイヤレス機能が搭載されている場合は、ひとつ以上のワイヤレス機能が使える状態のときに点灯します。なお、「VAIO Smart Network」でワイヤレス機能のデバイスが有効になっていない場合、WIRELESSランプは点灯しません。

⑥ (ディスク)アクセスランプ
CD ／ DVDなどのディスクやハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

⑦ (電源)ランプ(38ページ)
コンピューターの電源が入っている間は、緑色に点灯します。スリープモード時には、オレンジ色に点滅します。

⑧ TVボタン(「スグつくTV」搭載モデル)
「スグつくTV」を起動するときに押します。
「スグつくTV」起動時にこのボタンを押すと、「スグつくTV」を終了します。

⑨ WEBボタン
本機を起動し、Windowsにログオンした後に押すと、既定として設定されているWebブラウザーを起動します。(お買い上げ時は「Internet Explorer」に設定されています。)
また、本機の電源が切れているときに押すと、「Quick Web Access」機能を起動します。

⑩ (電源)ボタン(38ページ)
コンピューターの電源を入れるときに押します。
本機の動作中にこのボタンを押すと、スリープモードに入ります。(お買い上げ時の設定)

⑪ 3Dシンクロトランスミッター
(3D対応ディスプレイ搭載モデル)
3Dメガネに信号を送ります。

⑫ 内蔵カメラ
「Windows Live Messenger」などのソフトウェアを使って、テレビ電話などをするときに使用します。

⑬ 内蔵カメラランプ
内蔵カメラ起動中に点灯します。

⑭ 液晶ディスプレイまたはタッチパネル
コンピューターの画面を表示します。
タッチパネル搭載モデルでは画面をタッチすることでコンピューターを操作することができます。

⑮ (Edge Access操作ガイド表示)ボタン
(タッチパネル搭載モデル)
Edge Accessの操作方法を表示するときにタッチします。

!ご注意
お買い上げ時の状態では、Edge Accessは無効に設定されています。はじめてお使いの場合は ボタンをタッチして、Edge Accessを有効にしてください。

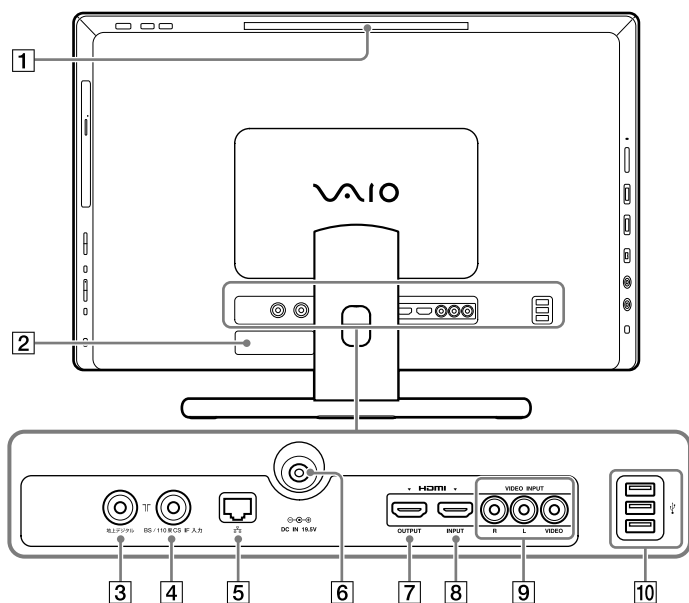
⑯ 3Dボタン(3D対応ディスプレイ搭載モデル)
3D映像と2D映像を切り換えます。3Dについて詳しくは、付属の「3Dを楽しもう」をご覧ください。

⑰ ロゴランプ
本機の電源を入れると点灯します。
ロゴランプの点灯／消灯は、設定を変更することができます。
お買い上げ時は、ロゴランプは自動的に点灯／消灯するように設定されています。

⑱ リモコン受光部(リモコン付属モデル)
リモコンの信号を受けます。

液晶ディスプレイについて

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本体後面

1 排気口

本体内部の熱が排気されます。

2 機銘板ラベル

型名などが記載されています。

3 ㆜ 地上デジタル(アンテナ)端子
(テレビチューナー搭載モデル)(31ページ)

アンテナをつなぎます。本機で地上デジタル放送を見るときに使います。

4 ㆜ BS ／ 110度CS IF入力端子
(地上デジタル+BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル)(32ページ)

BS ／ 110度CSデジタル放送のアンテナをつなぎます。

5 品 (LAN)端子(27ページ)

ネットワーク(LAN)とつなぎます。

！ご注意

LAN端子には指定以外のLANケーブルや電話回線を接続しないでください。

6 DC IN 19.5V端子(35ページ)

ACアダプターをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

7 HDMI OUTPUT(HDMI出力)端子

HDMI入力端子のあるテレビやディスプレイなどをつなぎます。

8 HDMI INPUT(HDMI入力)端子

HDMI出力端子のあるHDDレコーダーやゲーム機などをつなぎます。

9 VIDEO INPUT(ビデオ入力)端子

- **VIDEO(映像入力)**：
  ゲーム機などの映像出力端子とつなぎます。
- **L ／ R(音声入力)**：
  ゲーム機などの音声出力端子とつなぎます。

10 ψ（USB）端子

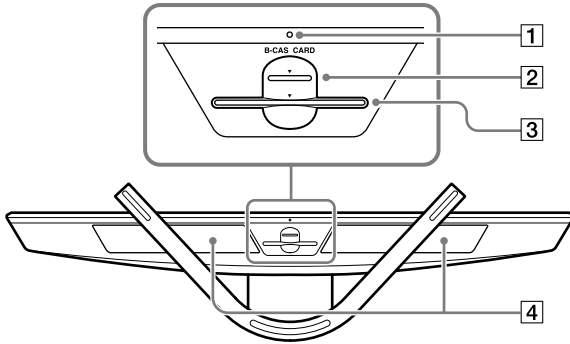
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

このUSB端子は、USB 2.0規格に対応しています。

!ご注意

使用中に、本体後面の上部排気口の温度が上がることがあります。これらの部分に触れるときは、充分ご注意ください。

本体底面

1 **内蔵マイク**

「Windows Live Messenger」などのソフトウェアを使ってテレビ電話などを楽しむときに利用します。

2 **miniB-CASカード挿入口**（「スグつくTV」搭載モデル）（29ページ）

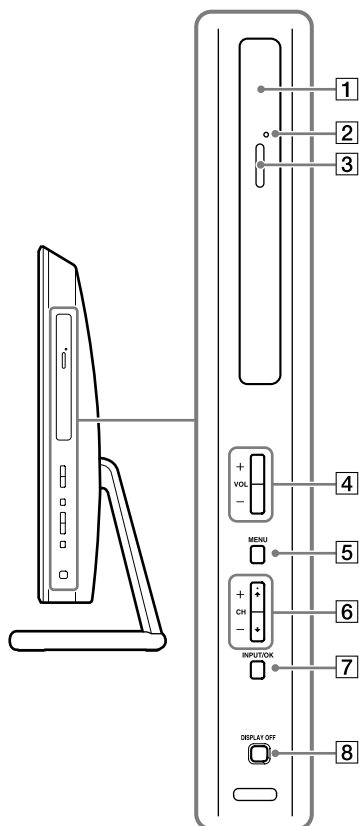
miniB-CASカードを挿入します。

3 **B-CASカード挿入口**（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）（28ページ）

B-CASカードを挿入します。

4 **内蔵スピーカー**

音楽CDやDVD再生時に音が出ます。

本体右側面

1 **ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）、ブルーレイディスクROMドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）またはDVDスーパーマルチドライブ**
Blu-ray DiscやCD、DVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします。
以降、ドライブと略します。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。
（［コンピューター本体の使いかた］－［CD ／ DVD ／ BD］－［ディスクを入れる／取り出す］をクリックする。）

2 **マニュアルイジェクト穴**
ドライブに挿入されたディスクを強制的に排出させるときに使用します。針金のようなもの（太めのクリップで代用可）を穴に押し込んでください。

3 **イジェクトボタン**
ドライブからディスクを取り出すときに押します。

4 VOL（音量調節）ボタン
音量を調節します。

5 MENU（メニュー）ボタン
メニュー画面が表示されます。HDMI ／ VIDEO入力時の画面設定などが行えます。

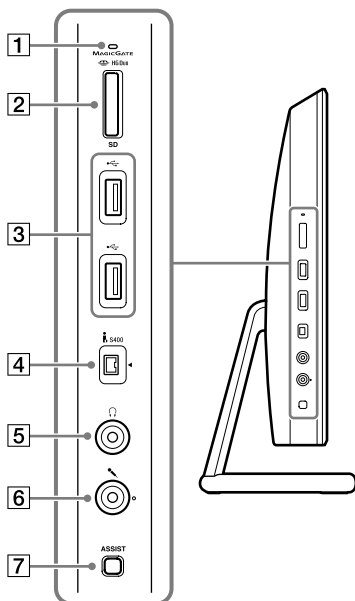
6 ↑/↓ボタン
チャンネルを切り換えるときに使います。（「スグつくTV」搭載モデル）
↑ボタンに突起が付いています。
メニュー画面表示中に押すと、項目を選べます。

7 INPUT/OKボタン
入力切換メニューを表示します。また、メニュー画面で項目を決定するときに使用します。

ヒント
HDMI ／ VIDEO入力時はHDMIランプまたはVIDEOランプが点灯します。

8 DISPLAY OFF（ディスプレイオフ）ボタン／ランプ
ディスプレイのバックライトを消したいときに押します。DISPLAY OFFボタンを押すと、DISPLAY OFFランプがオレンジ色に点灯します。
就寝中にテレビ番組を録画するとき（地上デジタル＋BS ／ 110度CSデジタルチューナー搭載モデル）や、ビデオコンテンツをDVDに書き込むときなどに使用します。

！ご注意
- DISPLAY OFFボタンを押した状態にするとディスプレイのバックライトは消えますが、画面表示自体は消えないので、明るいところではうっすらと画面が見えます。
- 「スグつくTV」起動時、およびHDMI ／ VIDEO入力時は画面と音声の両方が消えます。

本体左側面

1 **メモリーカードアクセスランプ**
"メモリースティック デュオ" やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

2 **"メモリースティック デュオ"/ SDメモリーカード 共用スロット**
"メモリースティック デュオ" やSDメモリーカードを挿入します。
"メモリースティック デュオ" とSDメモリーカードを同時に使用することはできません。

3 **(USB)端子**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
このUSB端子は、USB 3.0規格に対応しています。

4 **S400(i.LINK)端子**
i.LINK対応機器をつなぎます。

5 **(ヘッドホン出力)端子**
市販のヘッドホンをつなぎます。

6 **(マイク入力)端子**
市販のステレオマイクをつなぎます。

7 **ASSISTボタン**
Windowsが起動している状態で押すと、「VAIO Care」が起動します。
また、電源が切れている状態で押すと、「VAIO Care レスキュー」が起動します。

!ご注意
休止状態でASSISTボタンを押さないでください。休止状態で押すと「VAIO Care レスキュー」が起動しますが、休止状態に移行する前の状態に復元できない場合があります。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。本機の故障の原因となります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。

使用に適さない場所について

次のような場所で本機を使用すると故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所。
- 振動する場所や不安定な場所。
- ほこり、湿気の多い場所。
- 風通しが悪い場所。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です）。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- 本機タッチパネル表面は機器の構造上、温度が上がることがありますが故障ではありません（タッチパネル搭載モデル）。
- タッチパネル表面には、強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対に割れないわけではありません。したがって、取り扱いには充分ご注意ください。割れた場合、ガラスの小片が飛び散ることがあり危険です（タッチパネル搭載モデル）。
- お買い上げ時には、液晶ディスプレイの周辺部分に保護シートが貼られています。保護シートをはがさずに使用すると、タッチパネルが正常に動作しないことがあります（タッチパネル搭載モデル）。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記憶ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

また、万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。
ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機内蔵の無線LAN機能はWFA(Wi-Fi Alliance)で規定された「Wi-Fi(ワイファイ)仕様」に適合していることが確認されています。
- 無線LANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。セキュリティー対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。詳細については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.htmlをご覧ください。

- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯の無線LAN機能と5 GHz帯の無線LAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gは、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急で無線LAN機能を停止させる必要がある場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[LAN ／無線LAN]－[無線LANで通信する]をクリックする。）
- BLUETOOTH対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためBLUETOOTH対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- BLUETOOTH規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- BLUETOOTH一般の特性として、複数のBLUETOOTH機器を接続した場合は、帯域の問題により、BLUETOOTH機器の性能が落ちる場合があります。
- BLUETOOTH Audio機器と接続して動画を再生すると、BLUETOOTH機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

ACアダプターについてのご注意

- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプターをご使用ください。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプターは危険ですので、そのまま使用しないでください。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

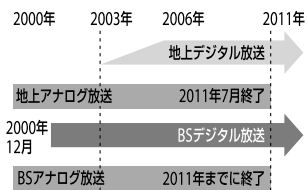
デジタル放送の著作権保護とB-CASカードについて（テレビチューナー搭載モデル）

デジタル放送を視聴するときは、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用します。B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が視聴できません。
- デジタル放送には、コピー制御信号が加えられています。放送局が定めた範囲でコピーできますが、著作権者等に無断で販売したりインターネットで公衆に送信したりすると、著作権侵害になります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について（テレビチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。
該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月*に、BSアナログ放送は2011年*までに終了することが、国の方針として決定されています。

* 2008年3月現在の情報です。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

3D映像の視聴について

3D映像の視聴中や3D立体視ソフトの使用中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D映像を視聴したり、3D立体視ソフトを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。
必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴や3D立体視ソフトの使用をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
なお、お子さま（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴したり、3D立体視ソフトを使用する前に、小児科や眼科などの医師にご相談いただくことをおすすめします。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

お手入れ

本機／マウスのお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

!ご注意

ゴミや汚れを拭き取る際、強く拭くとキズがつくおそれがあります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

キーボードのお手入れ

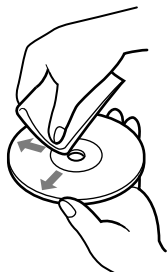
キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

!ご注意

- 本機の電源を切ってからキーボードを掃除してください。
- お手入れをするときは必ず乾電池を抜いてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピューターを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリー機能や自作のリカバリーメディアを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
データを消去するには以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する
  詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[ハードディスク]－[ハードディスクのデータを完全に消去する]をクリックする。）
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOサポートページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

デジタル放送について（テレビチューナー搭載モデル）

対応している放送の種類

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送（Giga Pocket Digital）
地上デジタル放送（スグつくTV）

！ご注意

- 本機は同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式には対応していません。
- アナログ放送には対応していません。

デジタル放送の機能

本機は以下の機能に対応しています。

- EPG（電子番組表）
- 字幕放送
- データ放送（Giga Pocket Digital）
- 双方向（データ放送）サービス（Giga Pocket Digital）

！ご注意

- 字幕はブルーレイディスクにのみ書き出しできます。ただし、再生機器によっては字幕が再生できないことがあります。
- 電話回線が必要な双方向（データ放送）サービスはご利用できません。

デジタル放送を書き出せるディスク（Giga Pocket Digital）

ハードディスクドライブに録画したデジタル放送の番組は、以下のディスクに書き出せます。

- BD-R ／ BD-RE（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）
- CPRM対応のDVD-R（片面1層および2層）
- CPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAM

！ご注意

- 「VAIO 電子マニュアル」の［コンピューター本体の使いかた］－［CD ／ DVD ／ BD］－［使用できるディスクとご注意］もあわせてご確認ください。
- デジタル放送の番組を直接ディスクに録画することはできません。
- デジタル放送の番組をBD-R ／ BD-REに書き出した場合、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイディスクレコーダーでは再生できません。
- デジタル放送の番組を書き出したディスクは、お使いの再生機器によっては再生できないことがあります。

CPRMについて（Giga Pocket Digital）

CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化・復号化する技術です。
デジタル放送の番組をDVDに書き出す場合は、パッケージに「デジタル放送対応」や「CPRM対応」などの記載があるディスクをご使用ください。

録画できるビデオの数について（Giga Pocket Digital）

- 「Giga Pocket Digital Ver.3.3」をお使いの場合、録画できるビデオの数は7500件です。録画上限を超えた場合は録画できません。その場合はビデオ一覧で不要なビデオを削除してください。
- 録画したビデオは、必ずビデオ一覧より削除してください。
  リカバリーなどにより番組ファイルを直接削除すると、録画上限を正しく判定できなくなる場合があります。

索引

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

【C】

【D】

【E】

【G】

【H】

【I】

【L】

【M】

【Q】

【S】

【T】

【U】

【V】

【W】

【記号】

商標について

- SONYおよびSONYロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"およびそのロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- "S-FORCE"は、ソニー株式会社の登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "PetaMap"および「ペタマップ」は、ソニースタイル・ジャパン株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、クウジット株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジット株式会社がライセンスを行っている技術です。
- 「iモード」、「おサイフケータイ」および「トルカ」は株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- BLUETOOTHワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Centrino Inside、Intel Viiv、Intel Viiv ロゴ、Intel vPro、Intel vPro ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Viiv Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Outlook、PowerPoint、Officeロゴ、Encarta、Encartaロゴは、米国Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
- NVIDIA、NVIDIAロゴ、GeForceは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号ＤＤはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- HDMI、HDMI、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- SDXCロゴは商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Blu-ray Disc(TM)(ブルーレイディスク)、Blu-ray(TM)(ブルーレイ)、Blu-ray 3D(TM)(ブルーレイ3D)及びその関連のロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、Lightroom、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピューターに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、VAIOを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

VAIOの最新サポート情報を提供

VAIOサポートページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは97ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://sony.jp/vaio/myvaio/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とVAIOを楽しむための情報をご利用いただけます。

VAIOの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://sony.jp/vaio/

VAIOのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

（0120）60-3399（ロクゼロ サンサンキュウキュウ）

（フリーダイヤル）

※「製品登録」がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間

平日：9時～ 18時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。フリーダイヤルは「製品登録」後、1 ～ 2時間程度でご利用が可能になります。**
- **「製品登録」がお済みのお客様は、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**
- **お電話の前に本機の型名をご確認ください。（保証書または本体後面のIDラベルに記載されています。）**

お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」（97ページ）をご覧ください。

有料サービス

■ セミナー（ITエンターテインメントセミナー）

http://www.sony.jp/seminar/

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制できめ細かく学べる各種セミナーやご自宅でじっくり学べる訪問個人レッスンをご用意しています。

■ 設置設定サービス（ソニーデジホームサポート）

http://www.sony.jp/support/service/Support/

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

フリーダイヤル　(0120)60-3399

携帯電話・PHS・一部のIP電話　(0466)30-3000

フリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。
フリーダイヤルは、「製品登録」後、1～2週間程度でご利用が可能になります。
使いかたのお問い合わせについて、詳しくは前ページをご覧ください。

VAIOサポートページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://sony.jp/vaio/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4-290-354-01 (1)